

## 第5章 施設整備調査

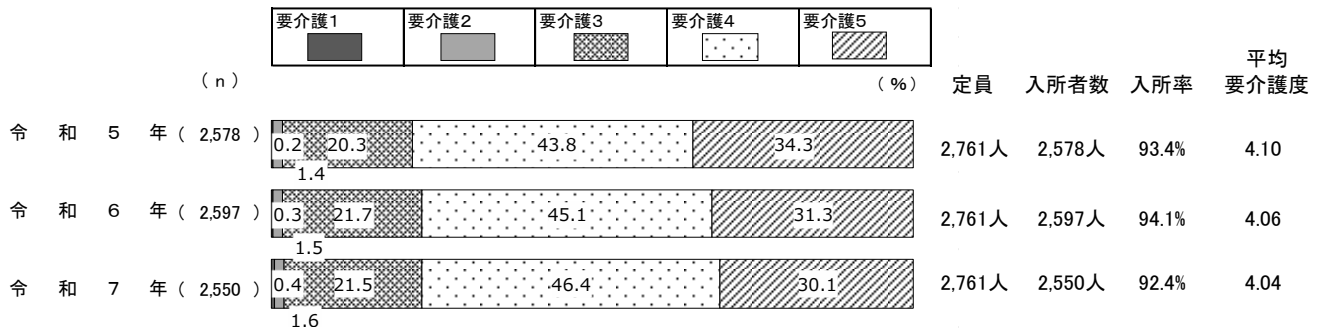


# 1. 特別養護老人ホーム

## (1) 要介護度別利用状況（各年12月末現在）

○要介護3以上の方の割合は、いずれの年も9割台となっている。

○定員に対する入所者の割合（入所率）はいずれの年も9割台となっている。



## (2) 入所前の住所地（令和7年12月末現在）

○入所前の住所地が区内である方の割合は、93.7%となっている。

	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入所者	501	624	649	615	2,389	80	31	50	2,550
	19.6%	24.5%	25.5%	24.1%	93.7%	3.1%	1.2%	2.0%	

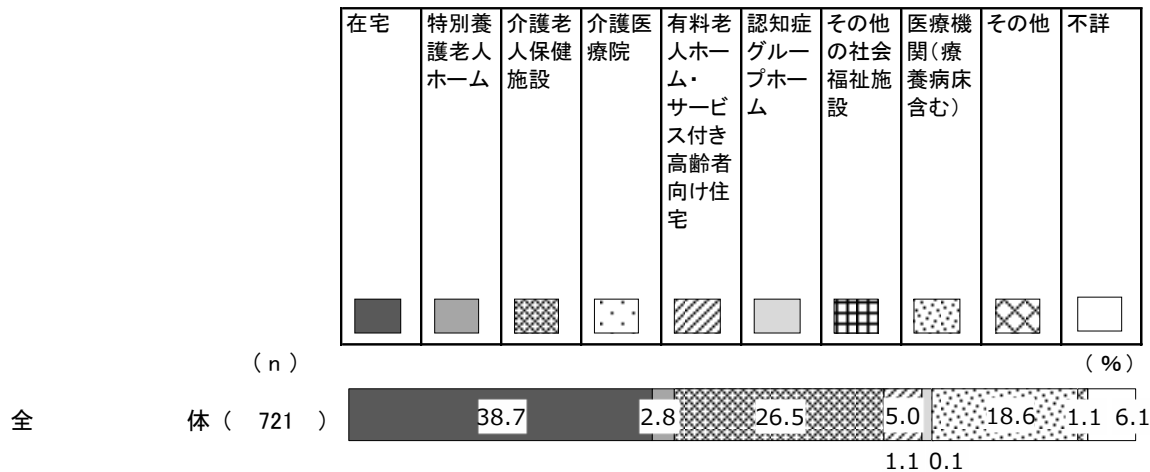
### (3) 入退所状況（令和7年実績）

#### ①入退所

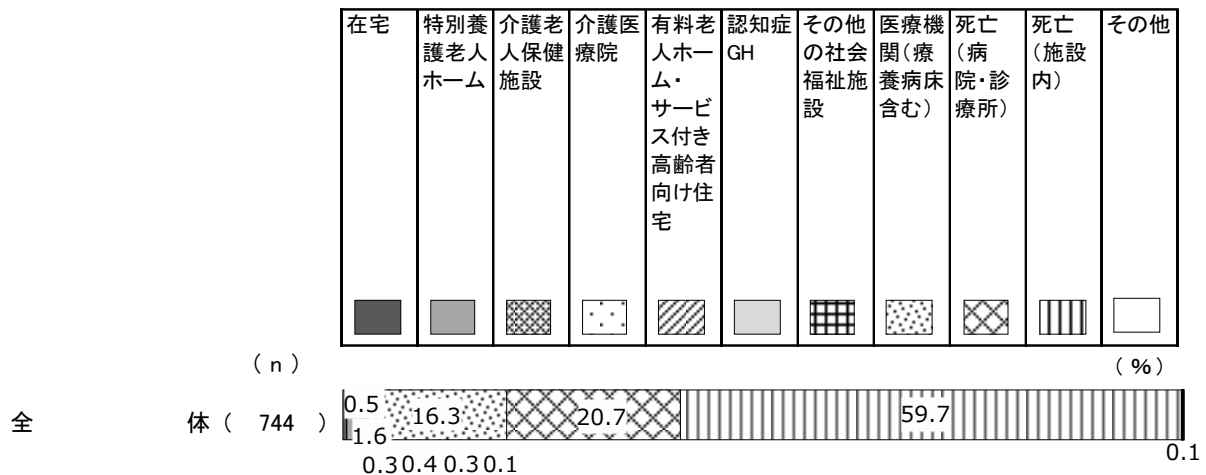
○令和7年中の入所者の入所前の生活場所は、「在宅」(38.7%)が最も高く、次いで「介護老人保健施設」(26.5%)の順となっている。

○退所後の行先（退所の理由）は、「死亡（施設内）」(59.7%)が最も高く、次いで「死亡（病院・診療所）」(20.7%)の順となっている。

#### 【入所前の生活場所】

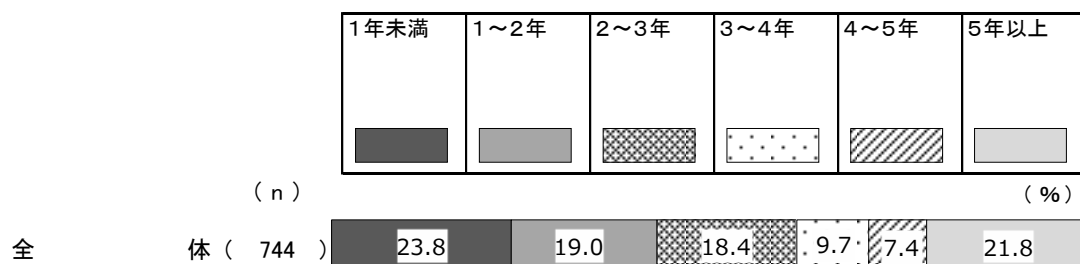


#### 【退所後の行先（退所の理由）】



#### ②退所者の在所期間

○「1年未満」(23.8%)が最も高く、次いで「5年以上」(21.8%)の順となっている。



#### (4) 入所者の待機期間

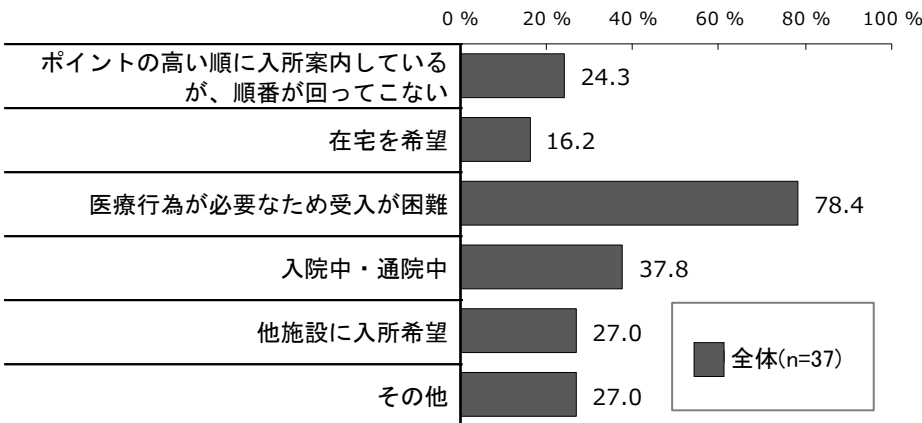
- 令和7年中の入所者のうち、申込みから3か月以内に入所した方（「1か月以内」と「3か月以内」の合計）の割合は、65.0%となっている。
- 申込みから1年以内に入所した方の割合は、94.1%となっている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、令和7年度の調査結果は、申込みから1年以内に入所した方の割合が0.9ポイント高くなっている。

	n	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	2年以内	3年以内	3年超	1年以内
令和7年度	677	17.6	47.4	19.4	9.7	4.9	0.9	0.1	94.1
令和4年度	617	18.0	35.7	27.1	12.5	5.0	1.1	0.6	93.2
令和元年度	619	10.7	29.6	36.0	12.1	8.1	2.6	1.0	88.4

#### (5) 1年以上入所できない理由

- 「医療行為が必要なため受入が困難」（78.4%）が最も高く、次いで「入院中・通院中」（37.8%）の順となっている。

（複数回答）



#### (6) 大規模改修（経費2億円以上）の実施予定

- 「ある」が4施設、「ない」が28施設、「検討中」が5施設となっている。

調査数	ある	ない	検討中
37	4	28	5

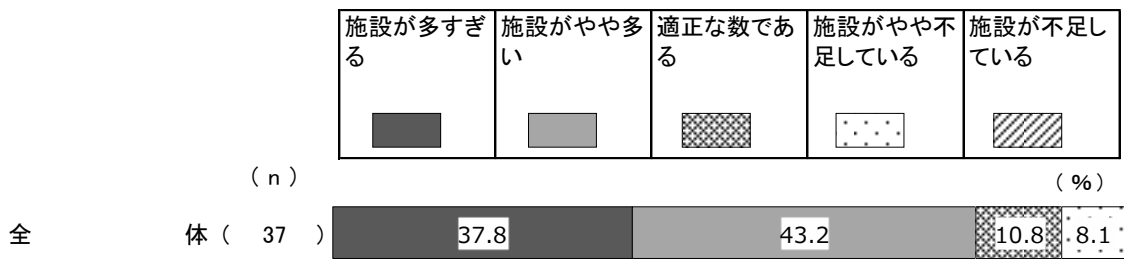
#### (7) 大規模改修（経費2億円以上）の実施時期

- 大規模改修（経費2億円以上）の実施予定が「ある」と回答した施設のうち、「3年以内」が2施設、「1年以内」が1施設となっている。

調査数	1年以内	3年以内	無回答
4	1	2	1

(8) 特別養護老人ホームの需給バランス

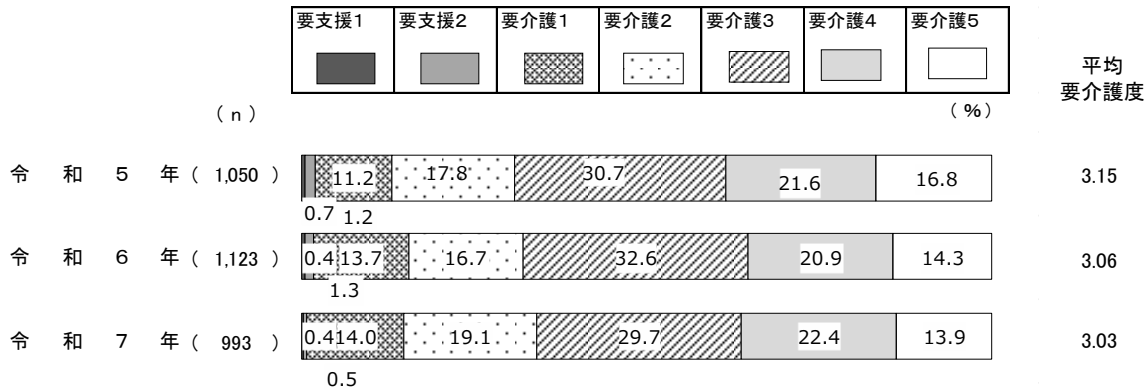
○「施設がやや多い」(43.2%)が最も高く、次いで「施設が多すぎる」(37.8%)の順となっている。



## 2. ショートステイ

### (1) 要介護度別利用状況（各年12月実績）

○利用者のほぼ全員が要介護1以上となっている。



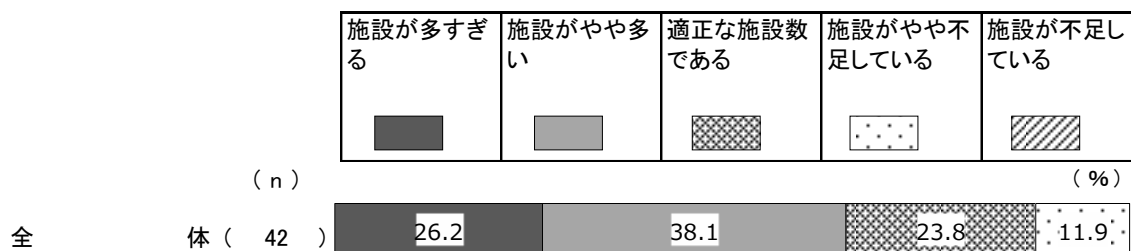
### (2) 利用者の住所地（令和7年12月末現在）

○区民の方の利用割合は、94.8%となっている。

施設所在地	施設数	定員数	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区 除く22 区)	都内 (その 他)	都外	計
			練馬	光が丘	石神井	大泉					
区内全域	42	427	211	222	321	187	941	23	16	13	993
			21.2%	22.4%	32.3%	18.8%	94.8%	2.3%	1.6%	1.3%	
練馬	5	34	54	4	4	2	64	2	0	0	66
			81.8%	6.1%	6.1%	3.0%	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%	
光が丘	14	149	108	206	51	30	395	13	3	7	418
			25.8%	49.3%	12.2%	7.2%	94.5%	3.1%	0.7%	1.7%	
石神井	8	85	29	5	142	8	184	8	1	2	195
			14.9%	2.6%	72.8%	4.1%	94.4%	4.1%	0.5%	1.0%	
大泉	15	159	20	7	124	147	298	0	12	4	314
			6.4%	2.2%	39.5%	46.8%	94.9%	0.0%	3.8%	1.3%	

### (3) ショートステイの需給バランス

○「施設がやや多い」(38.1%)が最も高く、次いで「施設が多すぎる」(26.2%)の順となっている。

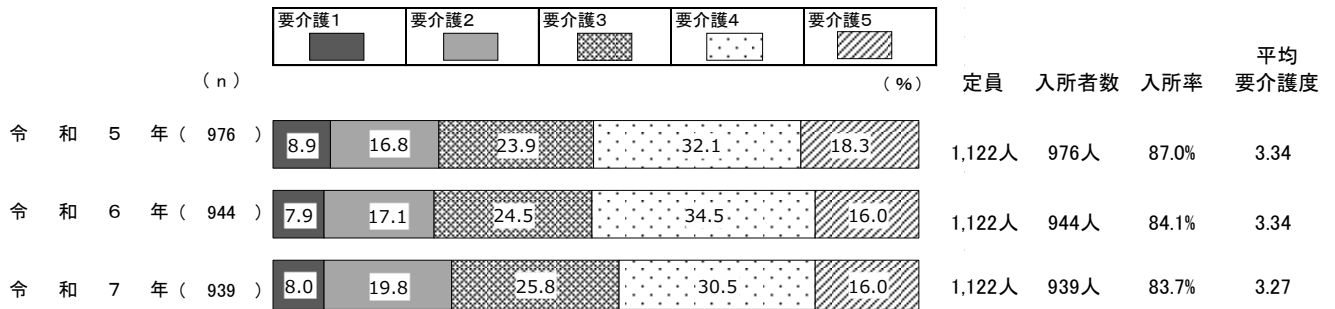


### 3. 介護老人保健施設

#### (1) 要介護度別利用状況（各年12月末現在）

○要介護3以上の方の割合は、いずれの年も7割台となっている。

○定員に対する入所者の割合（入所率）は、令和7年で83.7%となっている。



※定員は回答があった介護老人保健施設の定員数を合計した。

#### (2) 入所前の住所地（令和7年12月末現在）

○入所前の住所地が区内である方の割合は、62.7%となっている。

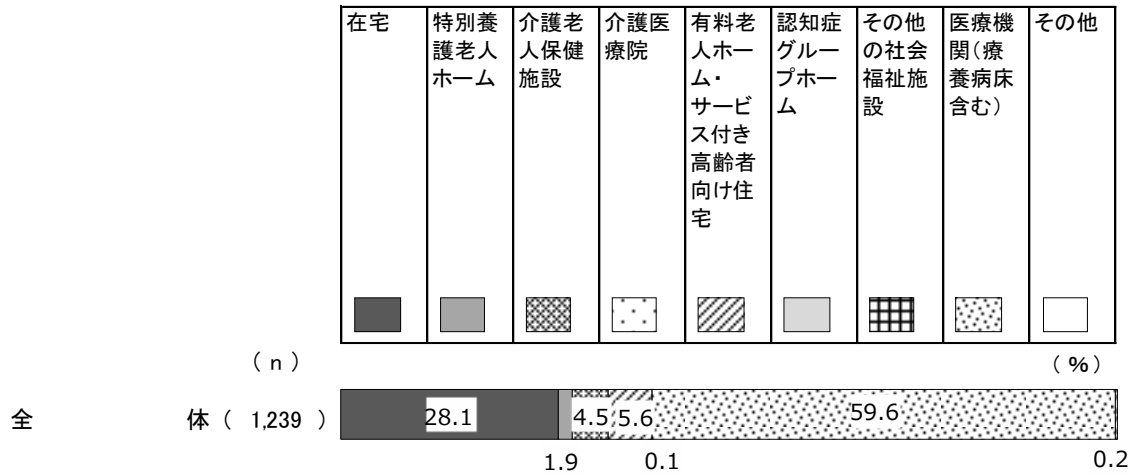
	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入所者	172	145	99	173	589	230	45	75	939
	18.3%	15.4%	10.5%	18.4%	62.7%	24.5%	4.8%	8.0%	

### (3) 入退所状況（令和7年実績）

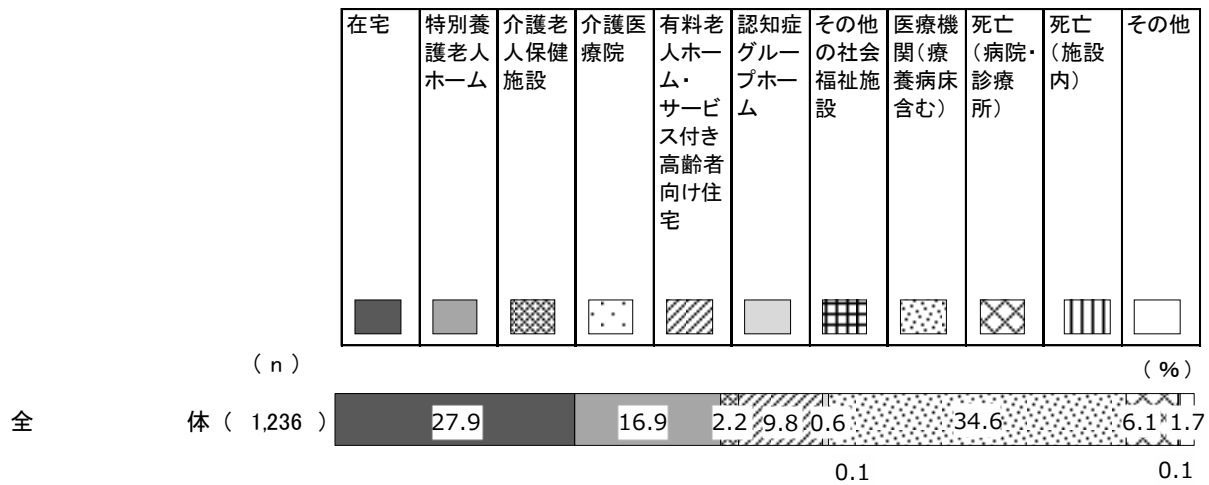
#### ①入退所者

- 入所前の生活場所は、「医療機関（療養病床含む）」（59.6%）が最も高く、次いで「在宅」（28.1%）の順となっている。
- 退所後の行先（退所の理由）は、「医療機関（療養病床含む）」（34.6%）が最も高く、次いで「在宅」（27.9%）の順となっている。

【入所前の生活場所】

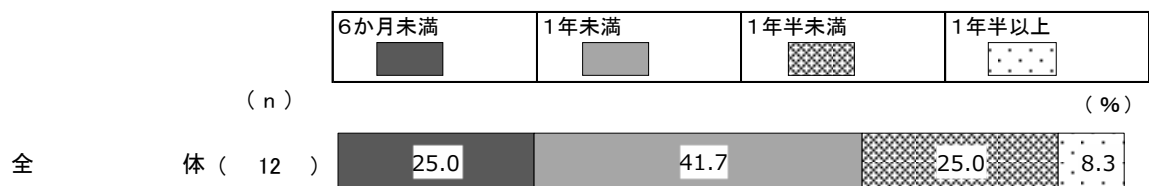


【退所後の行先（退所の理由）】



#### ②退所者の在所期間

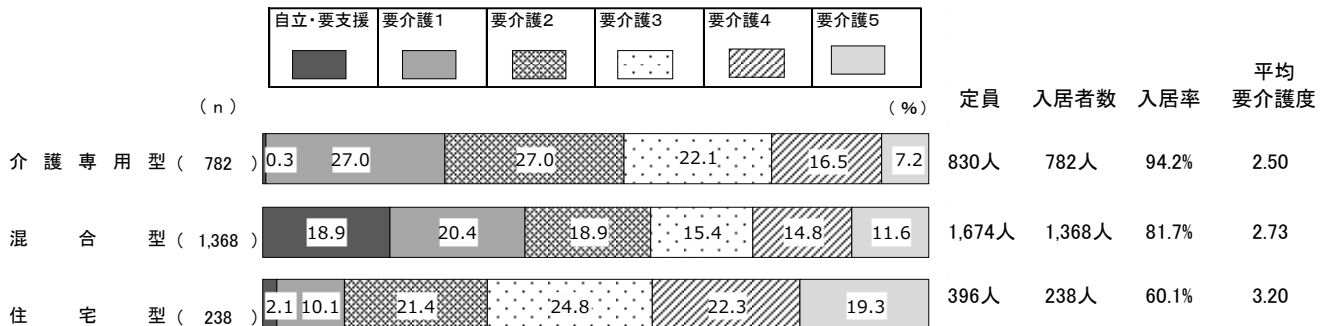
- 「1年未満」（41.7%）が最も高く、次いで「6か月未満」および「1年半未満」（ともに25.0%）の順となっている。



## 4. 有料老人ホーム

### (1) 要介護度別利用状況（令和7年12月末現在）

○要介護3以上の方の割合は、介護専用型が45.8%、混合型が41.8%、住宅型が66.4%となっている。



※定員は回答があった有料老人ホームの定員数を合計した。

### (2) 入居前の住所地（令和7年12月末現在）

○入居前の住所地が区内である方の割合は、41.2%となっている。

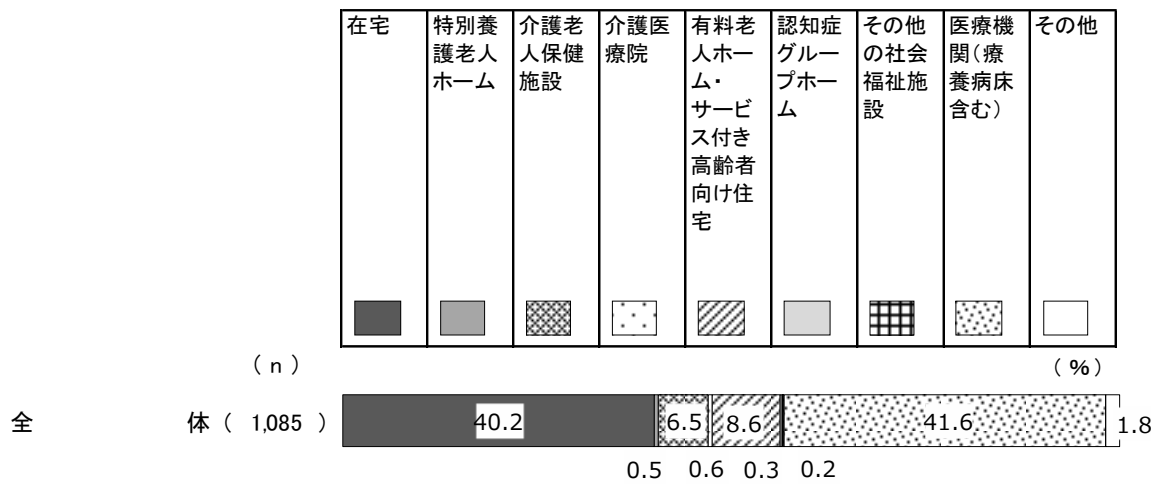
	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入居者	301	164	289	231	985	735	328	340	2,388
	12.6%	6.9%	12.1%	9.7%	41.2%	30.8%	13.7%	14.2%	

### (3) 入退居状況（令和7年実績）

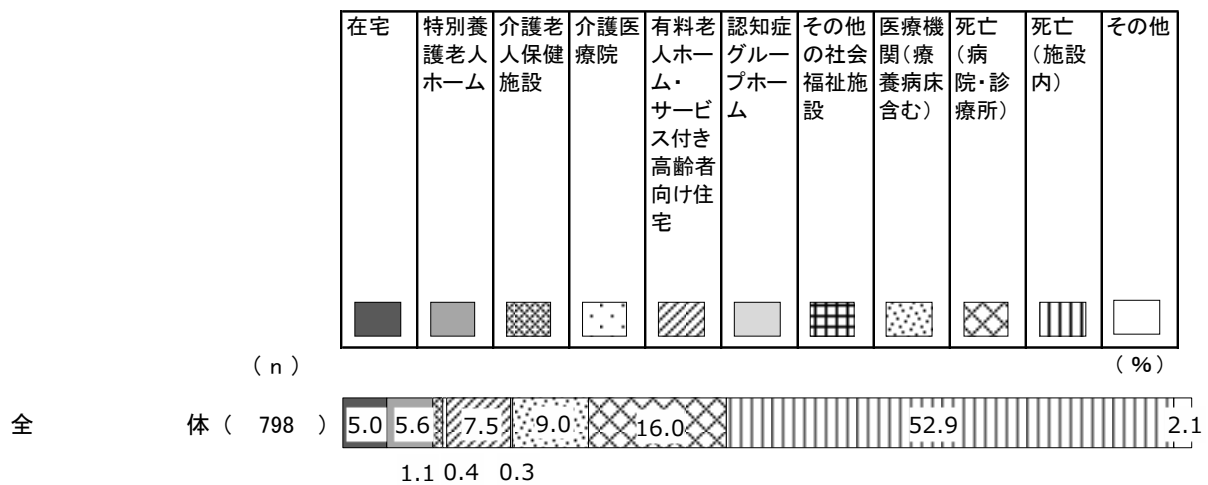
○入居前の生活場所は、「医療機関（療養病床含む）」（41.6%）が最も高く、次いで「在宅」（40.2%）の順となっている。

○退居後の行先（退居の理由）は、「死亡（施設内）」（52.9%）が最も高く、次いで「死亡（病院・診療所）」（16.0%）の順となっている。

#### 【入居前の生活場所】



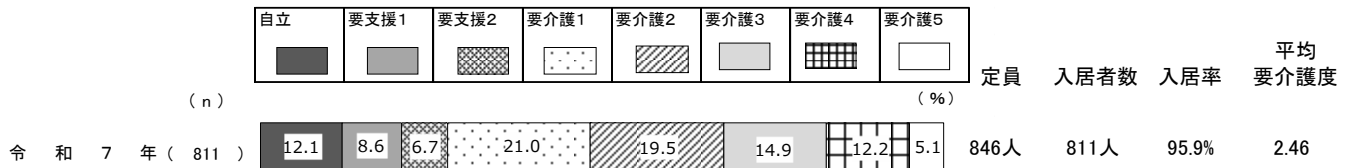
#### 【退居後の行先（退居の理由）】



## 5. サービス付き高齢者向け住宅

### (1) 要介護度別利用状況（令和7年12月末現在）

○要介護1以上の方の割合は、7割程度となっている。



※定員は回答があったサービス付き高齢者向け住宅の定員数を合計した。

### (2) 入居前の住所地（令和7年12月末現在）

○入居前の住所地が区内である方の割合は、43.3%となっている。

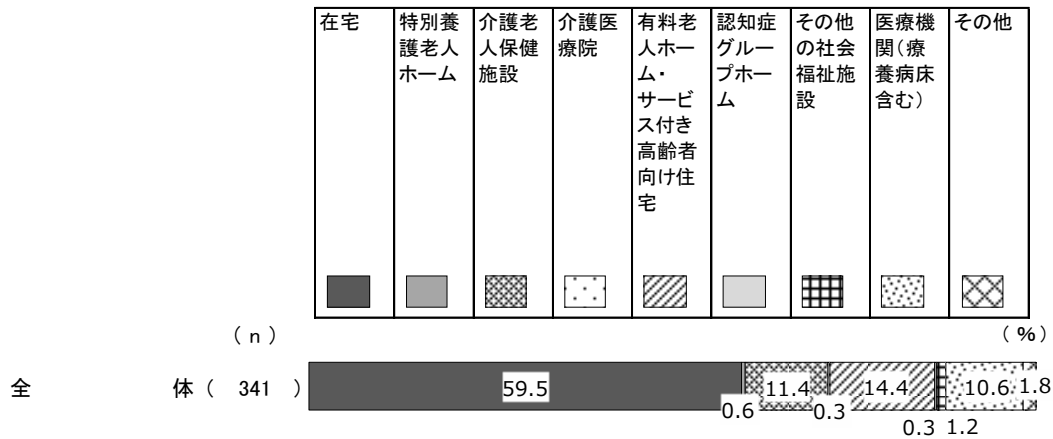
	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
サービス付き高齢者向け 住宅全体	77	69	104	101	351	190	92	178	811
	9.5%	8.5%	12.8%	12.5%	43.3%	23.4%	11.3%	21.9%	
特定施設 入居者生活介護	44	53	51	44	192	116	58	89	455
	9.7%	11.6%	11.2%	9.7%	42.2%	25.5%	12.7%	19.6%	
その他	33	16	53	57	159	74	34	89	356
	9.3%	4.5%	14.9%	16.0%	44.7%	20.8%	9.6%	25.0%	

### (3) 入退居状況（令和7年実績）

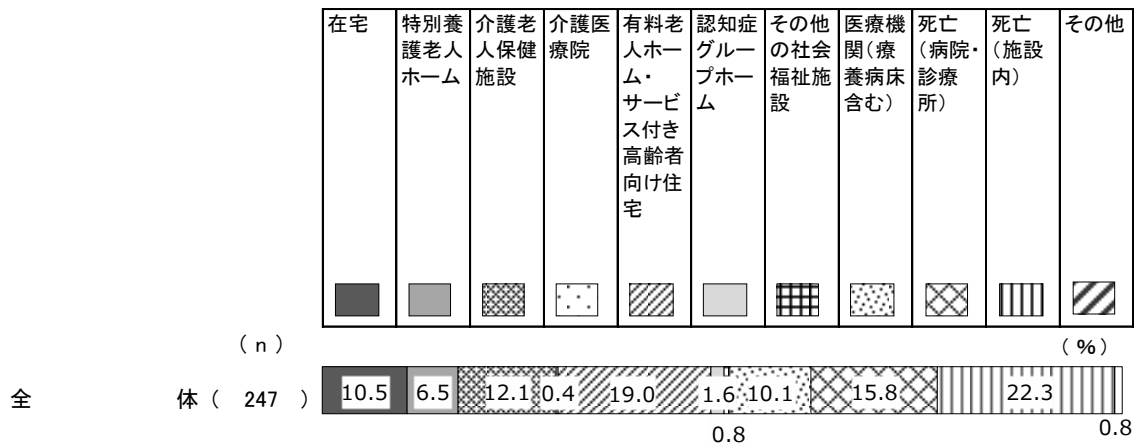
○入居前の生活場所は、「在宅」（59.5%）が最も高く、次いで「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」（14.4%）の順となっている。

○退居後の行先（退居の理由）は、「死亡（施設内）」（22.3%）が最も高く、次いで「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」（19.0%）の順となっている。

#### 【入居前の生活場所】



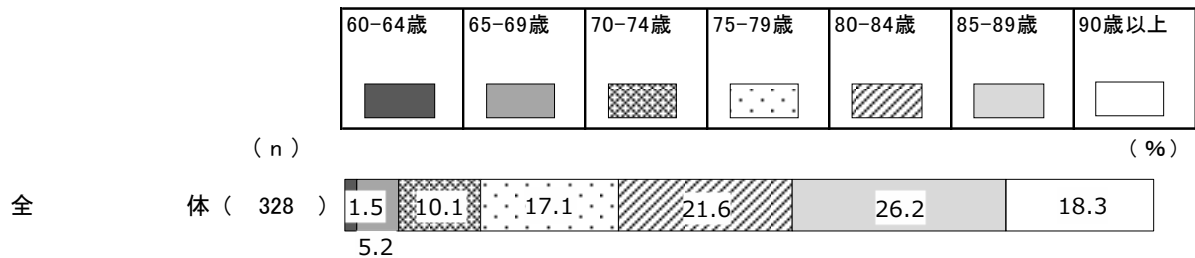
#### 【退居後の行先（退居の理由）】



## 6. 都市型軽費老人ホーム

### (1) 年齢別入所者数（令和7年12月末現在）

○「85-89歳」(26.2%)が最も高く、次いで「80-84歳」(21.6%)の順となっている。

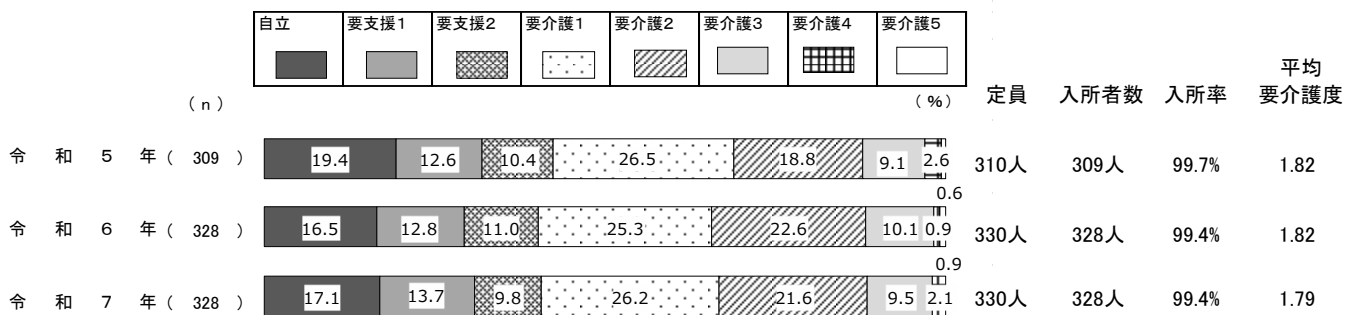


### (2) 要介護度別利用状況（各年12月末現在）

○自立の方の割合は、いずれの年も1割台となっている。

○定員に対する入所者の割合（入所率）は、令和7年で99.4%となっている。

○令和6年と比較すると、令和7年の入所率は等しくなっている。



### (3) 基本地区別人数（令和7年12月末現在）

○「大泉」(29.3%)が最も高く、次いで「石神井」(26.5%)の順となっている。

	基本地区				練馬区計
	練馬	光が丘	石神井	大泉	
入居者	70	75	87	96	328
	21.3%	22.9%	26.5%	29.3%	

(4) 入所者の待機期間

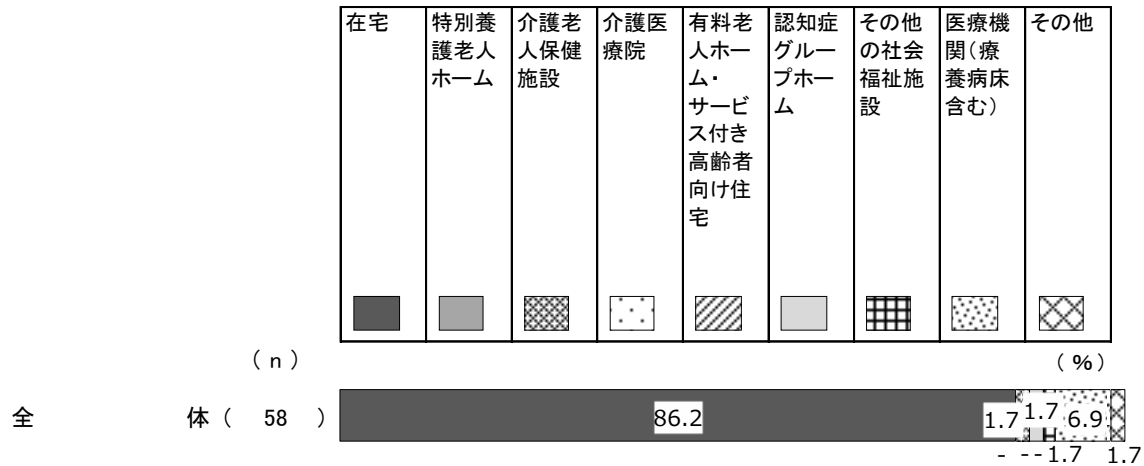
- 令和7年の入所者のうち、申込みから3か月以内に入所した方（「1か月以内」と「3か月以内」の合計）の割合は、77.6%となっている。
- 令和7年入所者の全員が申込みから1年以内に入所している。

	n	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	1年超	1年以内
令和7年度	58	27.6	50.0	19.0	3.4	0.0	100.0

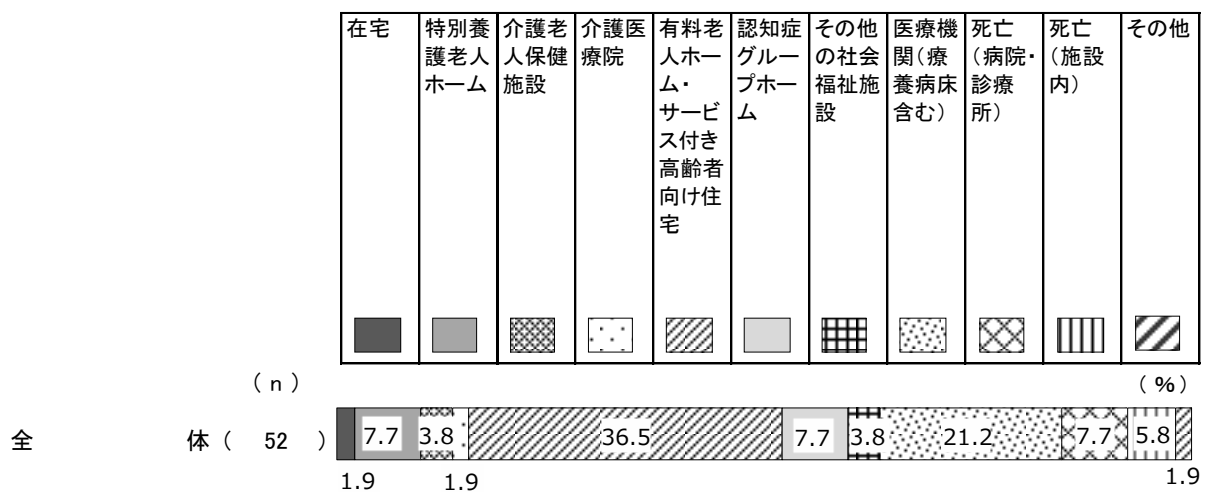
(5) 入退所状況（令和7年実績）

- 入所前の生活場所は、「在宅」（86.2%）が最も高く、次いで「医療機関（療養病床含む）」（6.9%）の順となっている。
- 退所後の行先（退所の理由）は、「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」（36.5%）が最も高く、次いで「医療機関（療養病床含む）」（21.2%）の順となっている。

【入所前の生活場所】

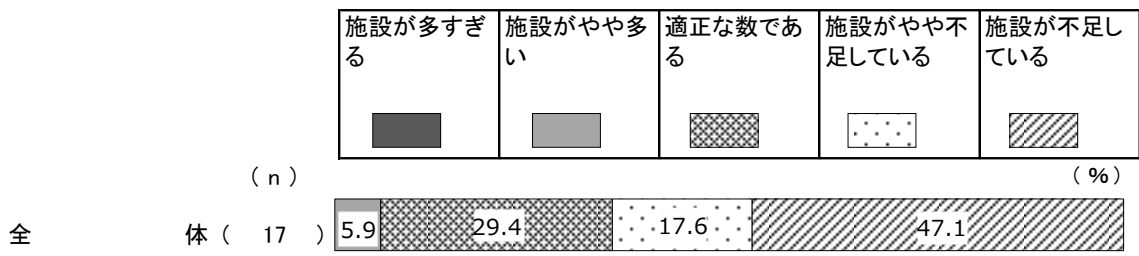


【退所後の行先（退所の理由）】



### (6) 都市型軽費老人ホームの需給バランス

○「施設が不足している」(47.1%)が最も高く、次いで「適正な数である」(29.4%)の順となっている。



## 7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

### (1) 契約者数（令和7年12月末現在）

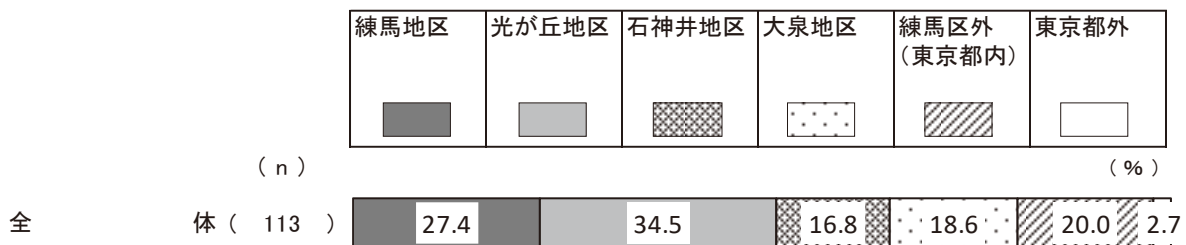
#### ①契約者数

○契約者数は「6～10人」および「11～15人」（ともに37.5%）が最も高く、次いで「16～20人」および「21人以上」（ともに12.5%）の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	8	0.0	37.5	37.5	12.5	12.5

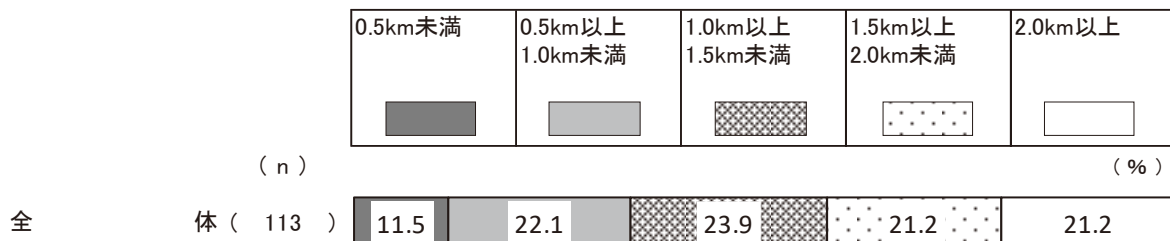
#### ②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」（34.5%）が最も高く、次いで「練馬地区」（27.4%）の順となっている。



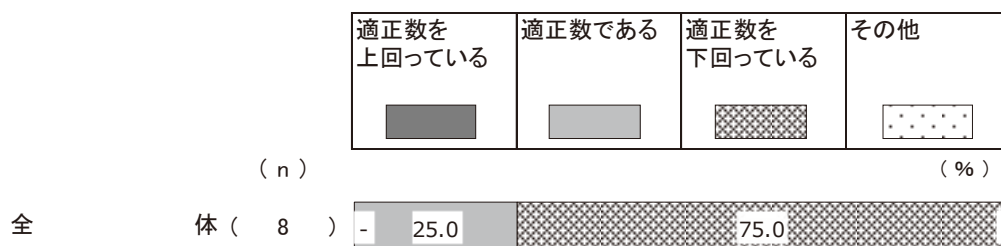
#### ③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「1.0km以上1.5km未満」（23.9%）が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」（22.1%）の順となっている。



### (2) 利用者数の妥当性

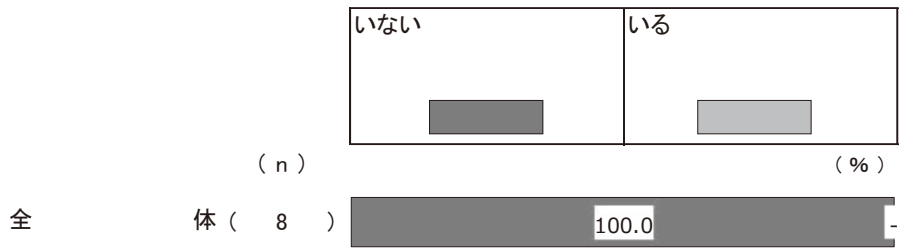
○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」が75.0%となっている。



### (3) 利用待機者

#### ①利用待機者（令和7年12月末現在）

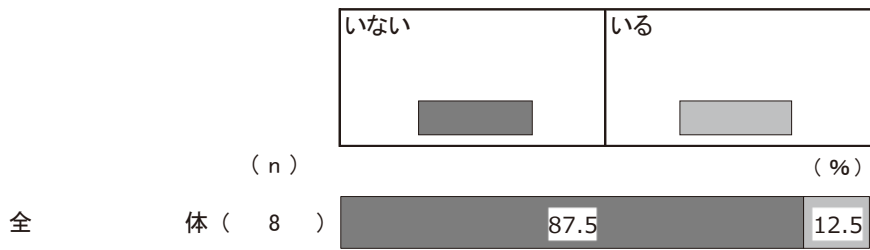
○利用待機者数は、すべての事業所が「いない」と回答している。



#### ②定員上限による断りの実態

○定員上限により利用を断った方は「いない」が87.5%となっている。

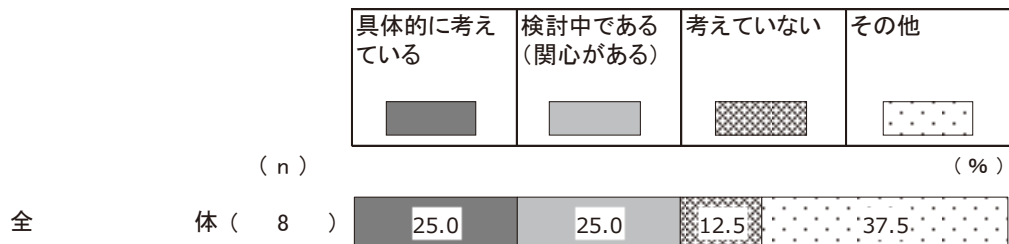
○「いる」と回答した事業所の定員上限により断った方は、「2～3人」となっている。



	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
定員上限による断り数	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

### (4) 今後の事業拡大の検討状況

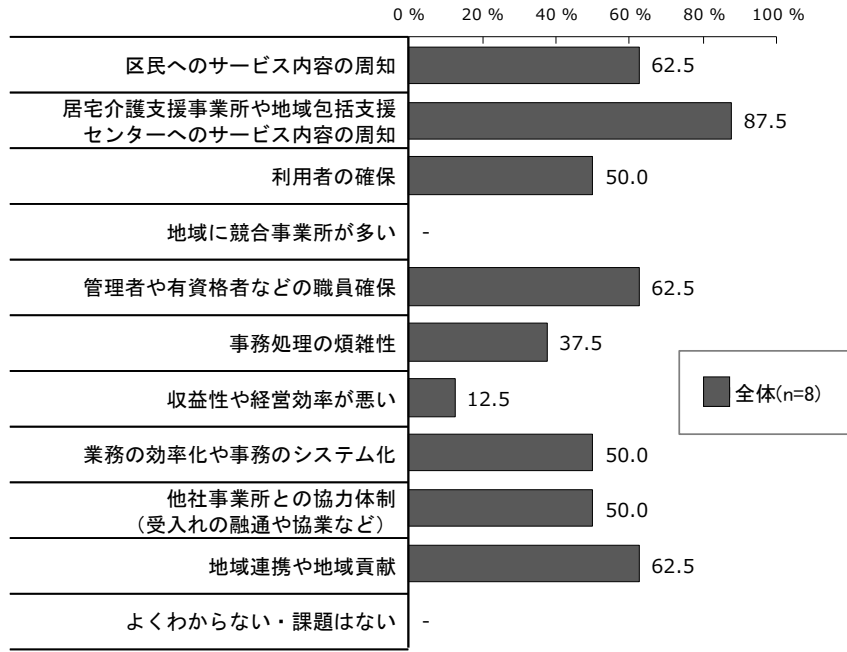
○今後の事業拡大について、「具体的に考えている」および「検討中である（関心がある）」（ともに25.0%）が最も高く、次いで「考えていない」（12.5%）の順となっている。



## (5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」(87.5%)が最も高く、次いで「区民へのサービス内容の周知」、「管理者や有資格者などの職員確保」および「地域連携や地域貢献」(ともに62.5%)の順となっている。

(複数回答)



## (6) 運営推進会議について

### ①開催状況（令和7年度）

○運営推進会議の開催数は、「2回」が100.0%となっている。

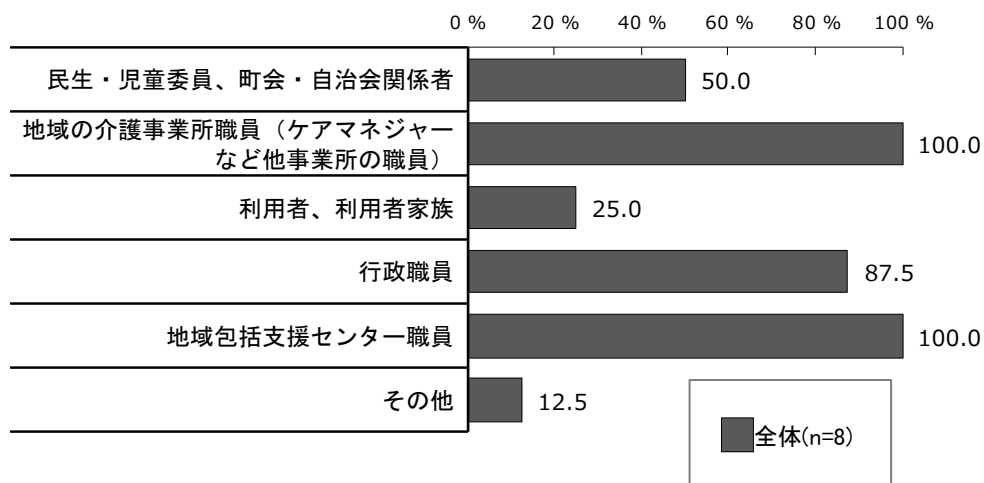
	n	0回	1回	2回	3~4回	5~6回
運営推進会議の開催数	8	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

### ②参加者

○運営推進会議への参加者は、「地域の介護事業所職員（ケアマネジャーなど他事業所の職員）」および「地域包括支援センター職員」（ともに100.0%）が最も高く、次いで「行政職員」（87.5%）の順となっている。

（複数回答）



## (7) 地域交流

### ①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ない」と回答した事業所が62.5%となっている。

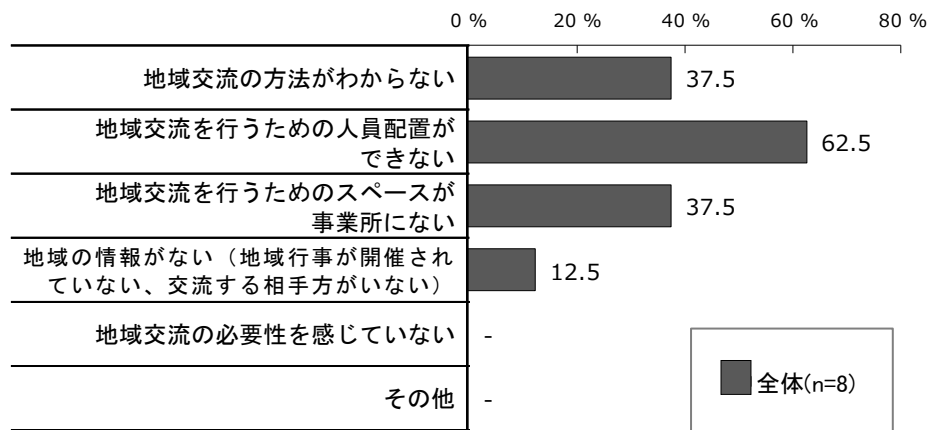
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」が60.0%となっている。

	(%)		⇒	(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=8)	37.5	62.5		20.0	60.0	20.0	0.0	

### ②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(62.5%)が最も高く、次いで「地域交流の方法がわからない」および「地域交流を行うためのスペースが事務所がない」(ともに37.5%)の順となっている。

(複数回答)



## 8. 夜間対応型訪問介護

### (1) 契約者数等

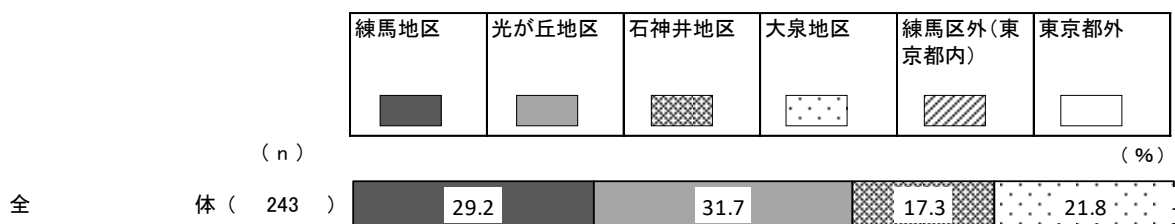
#### ①契約者数

○契約者数は「51～100人」および「151～200人」が最も高く、それぞれ50.0%となっている。

	n	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	201人以上
契約者数	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

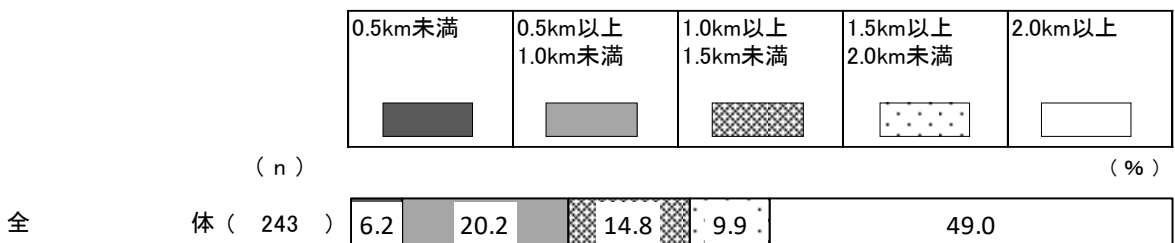
#### ②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(31.7%)が最も高く、次いで「練馬地区」(29.2%)の順となっている。



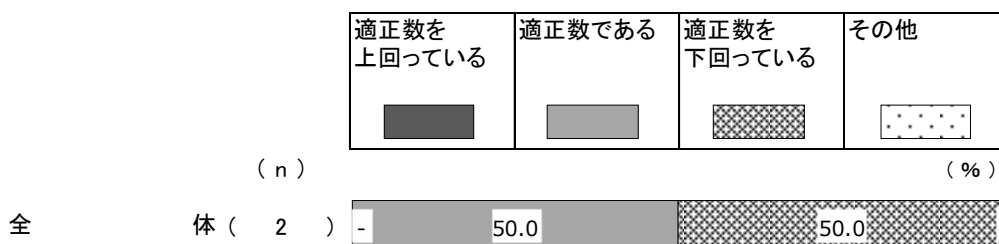
#### ③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(49.0%)が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」(20.2%)の順となっている。



### (2) 利用者数の妥当性

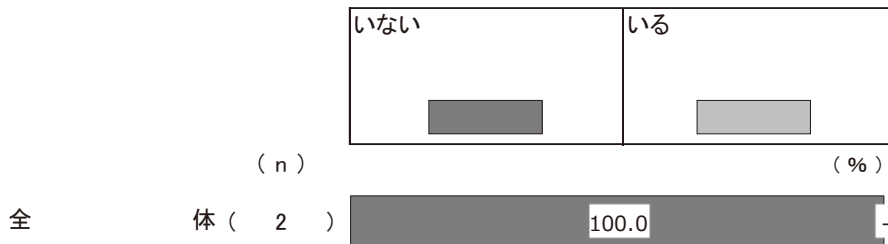
○利用者数の妥当性について、「適正数である」および「適正数を下回っている」がそれぞれ50.0%となっている。



### (3) 利用待機者数

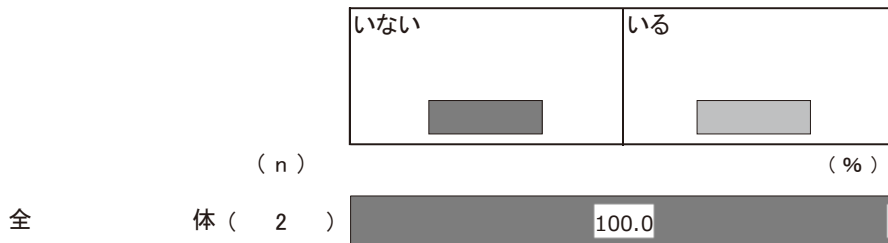
#### ①利用待機者数の有無

○利用待機者は、すべての事業所が「いない」と回答している。



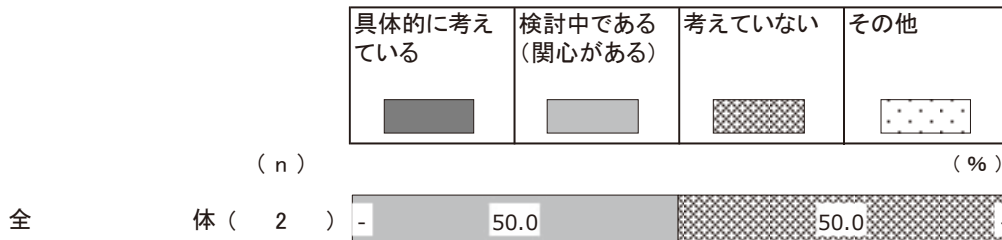
#### ②定員上限による断りの実態

○定員上限により利用を断った方は、すべての事業所が「いない」と回答している。



### (4) 今後の事業拡大の検討状況

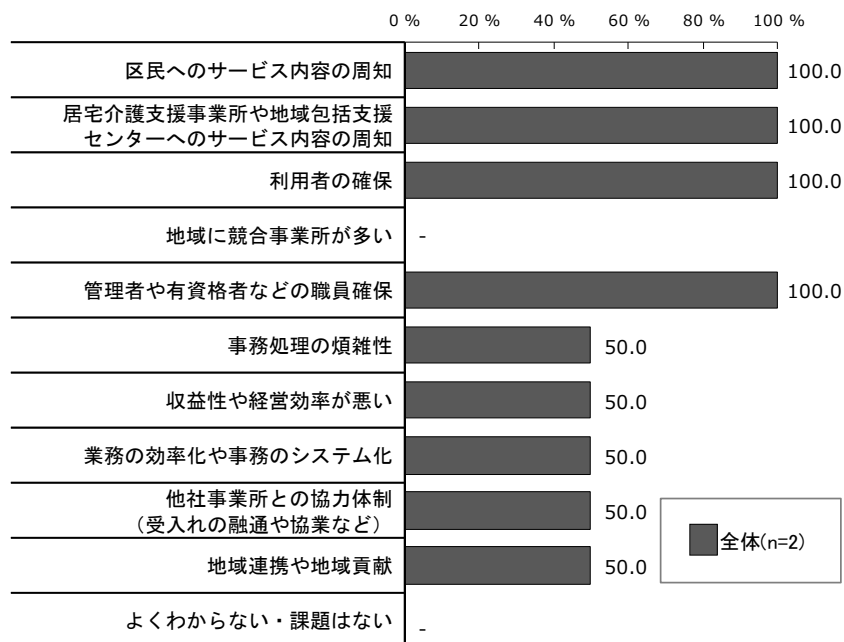
○今後の事業拡大について、「具体的に考えている」および「検討中である（関心がある）」がそれぞれ50.0%となっている。



## (5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「区民へのサービス内容の周知」、「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」、「利用者の確保」および「管理者や有資格者などの職員確保」が最も高く、100.0%となっている。

(複数回答)



## (6) 地域交流の取組状況

### ①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは「ある」および「ない」と回答した事業所がそれぞれ50.0%となっている。

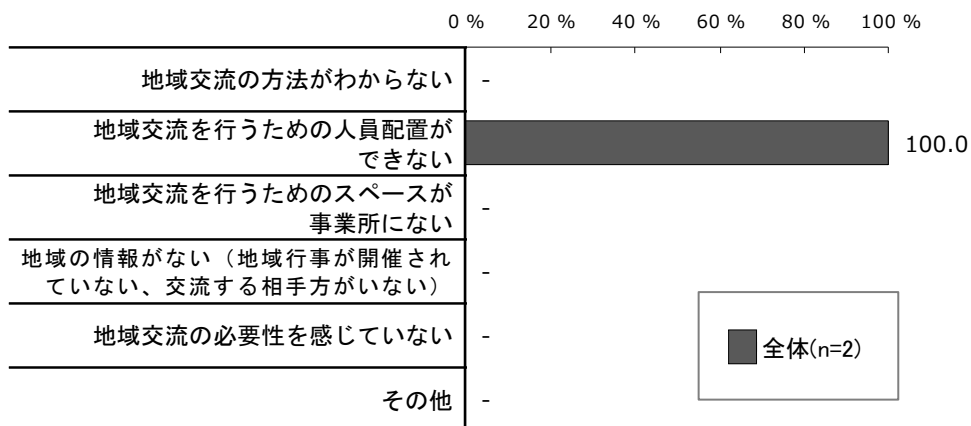
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」となっている。

(%)			(%)					
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=2)	50	50	⇒	全体(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0

### ②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」が最も高く、100.0%となっている。

(複数回答)



## 9. 地域密着型通所介護

### (1) 契約者数等

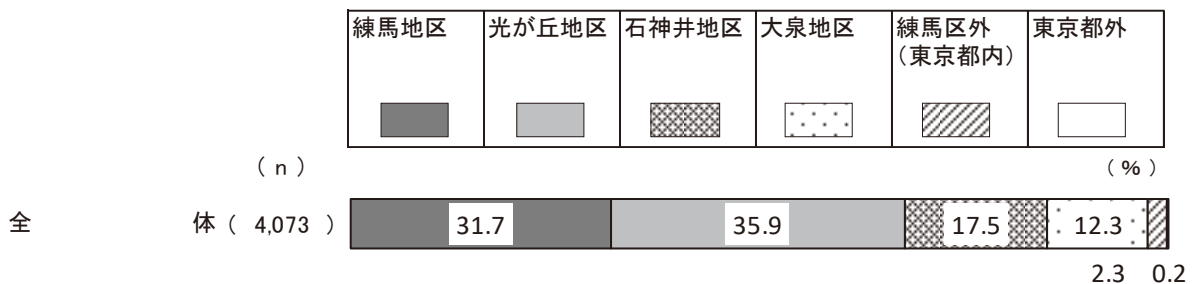
#### ①契約者数

○契約者数は「21人以上」(75.8%)が最も高く、次いで「16～20人」(7.7%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	91	3.3	6.6	6.6	7.7	75.8

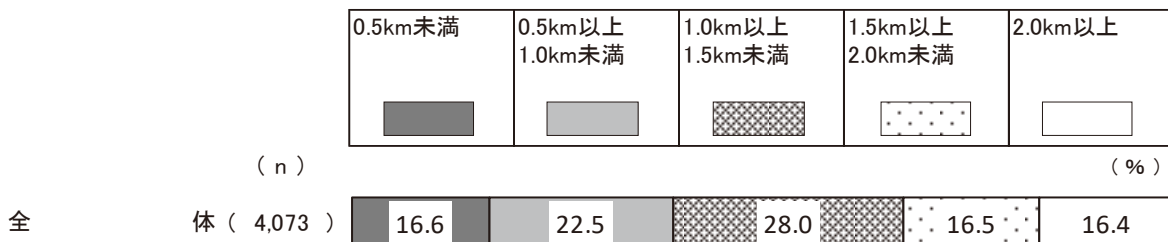
#### ②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(35.9%)が最も高く、次いで「練馬地区」(31.7%)の順となっている。



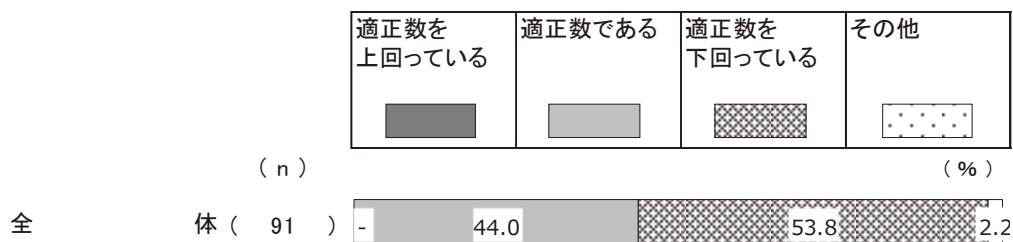
#### ③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「1.0km以上1.5km未満」(28.0%)が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」(22.5%)の順となっている。



### (2) 利用者数の妥当性

○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(53.8%)が最も高く、次いで「適正数である」(44.0%)の順となっている。

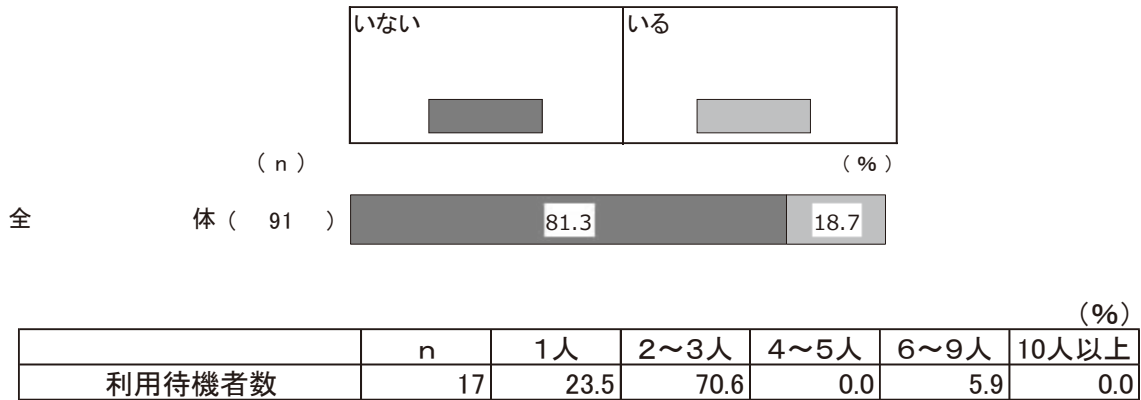


### (3) 利用待機者数

#### ①利用待機者数の有無

○利用待機者は、「いない」と回答した事業所が81.3%となっている。

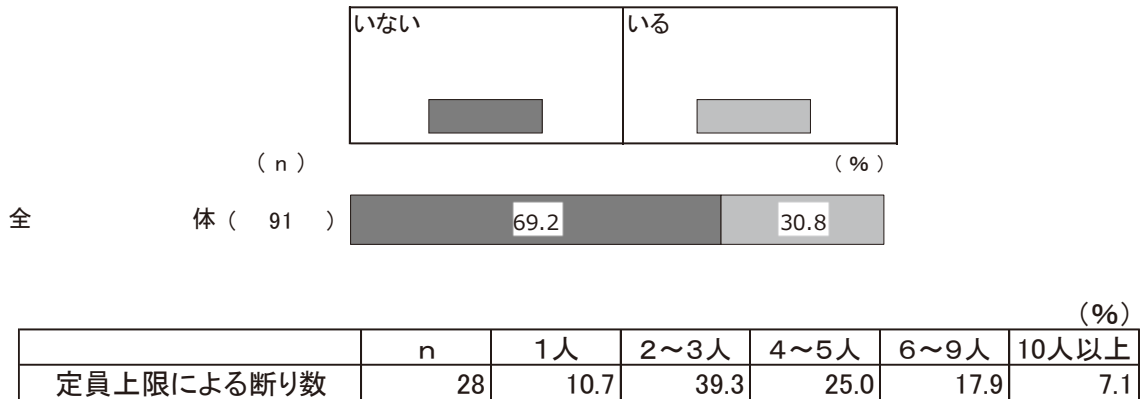
○「いる」と回答した事業所の待機者数は、「2～3人」が70.6%となっている。



#### ②定員上限による断りの実態

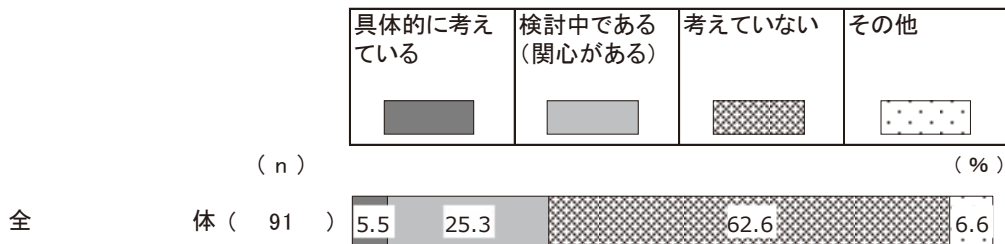
○定員上限により利用を断った方は、「いない」と回答した事業所が69.2%となっている。

○「いる」と回答した事業所で、定員上限により断った方は「2～3人」が39.3%となっている。



### (4) 今後の事業拡大の検討状況

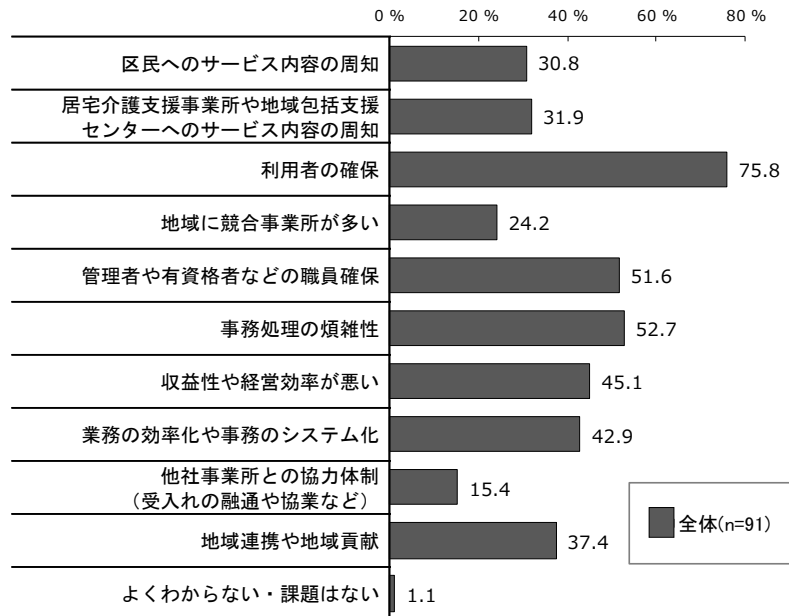
○今後の事業拡大について、「考えていない」(62.6%)が最も高く、次いで「検討中である(関心がある)」(25.3%)の順となっている。



## (5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「利用者の確保」(75.8%)が最も高く、次いで「事務処理の煩雑性」(52.7%)の順となっている。

(複数回答)



## (6) 運営推進会議について

### ①開催状況(令和7年度)

○運営推進会議の開催数は、「2回」(70.3%)が最も高く、次いで「1回」(26.4%)の順となっている。

	n	0回	1回	2回	3~4回	5~6回
運営推進会議の開催数	91	2.2	26.4	70.3	1.1	0.0

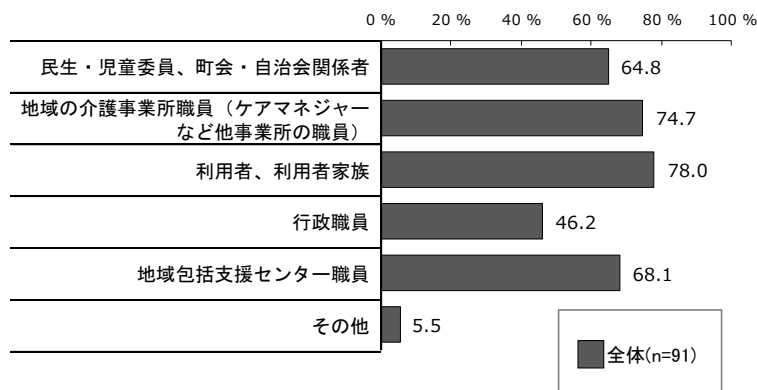
(%)

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

### ②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「利用者、利用者家族」(78.0%)が最も高く、次いで「地域の介護事業所職員(ケアマネジャーなど他事業所の職員)」(74.7%)の順となっている。

(複数回答)



## (7) 地域交流の取組状況

### ①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ない」と回答した事業所が50.5%となっている。

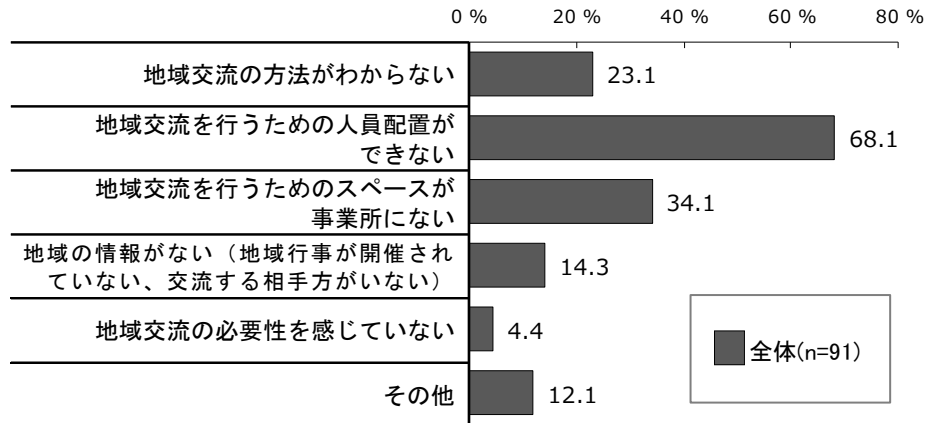
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」が60.9%となっている。

	(%)		⇒	(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=91)	49.5	50.5		10.9	60.9	23.9	4.3	

### ②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(68.1%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事業所にない」(34.1%)の順となっている。

(複数回答)



## 10. 認知症対応型通所介護

### (1) 契約者数等

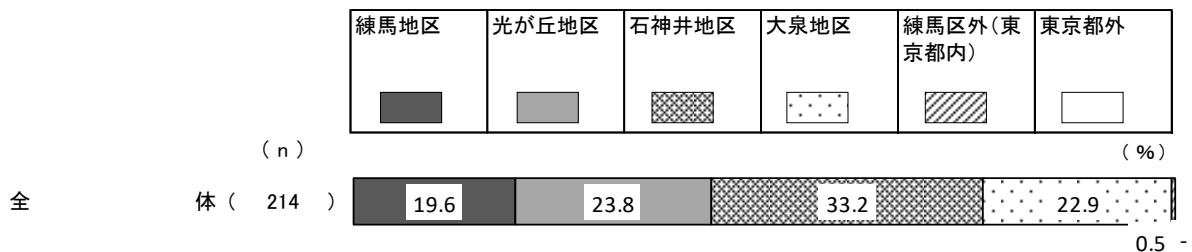
#### ①契約者数

○契約者数は「21人以上」(50.0%)が最も高く、次いで「16人～20人」(30.0%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	10	10.0	0.0	10.0	30.0	50.0

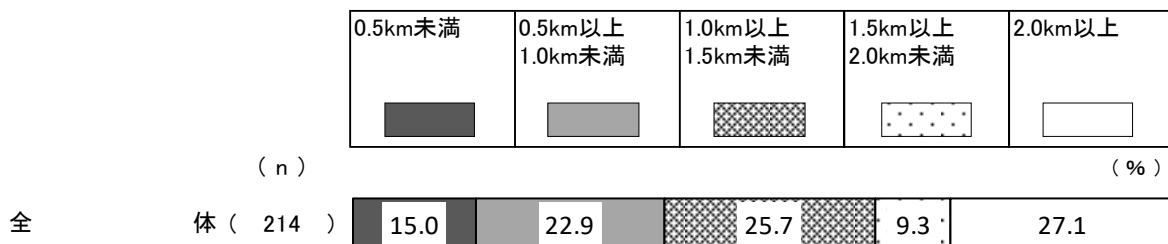
#### ②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「石神井地区」(33.2%)が最も高く、次いで「光が丘地区」(23.8%)の順となっている。



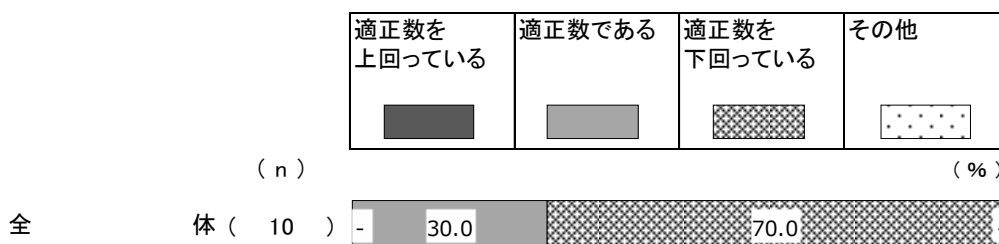
#### ③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(27.1%)が最も高く、次いで「1.0km以上1.5km未満」(25.7%)の順となっている。



### (2) 利用者数の妥当性

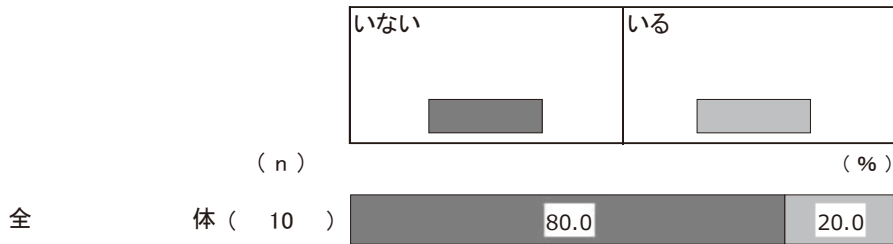
○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(70.0%)が最も高く、次いで「適正数である」(30.0%)の順となっている。



### (3) 利用待機者数

#### ①利用待機者数の有無

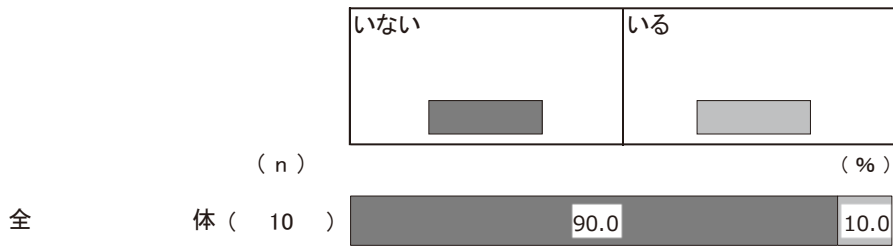
- 利用待機者は「いない」と回答した事業所が80.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の待機者数は「1人」が100.0%となっている。



	n	1人	2~3人	4~5人	6~9人	10人以上
利用待機者数	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### ②定員上限による断りの実態

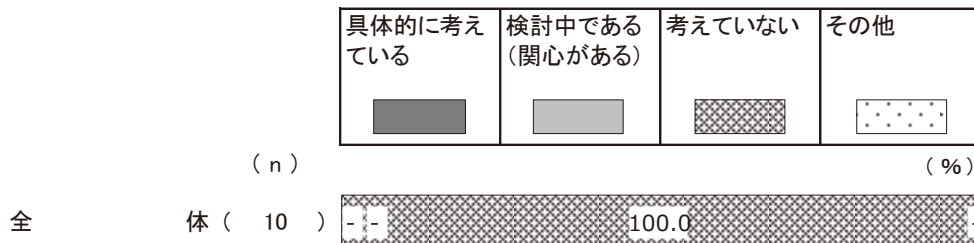
- 定員上限により利用を断った方は「いない」と回答した事業所が90.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の定員上限により断った方は、「10人以上」となっている。



	n	1人	2~3人	4~5人	6~9人	10人以上
定員上限による断り数	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

### (4) 今後の事業拡大の検討状況

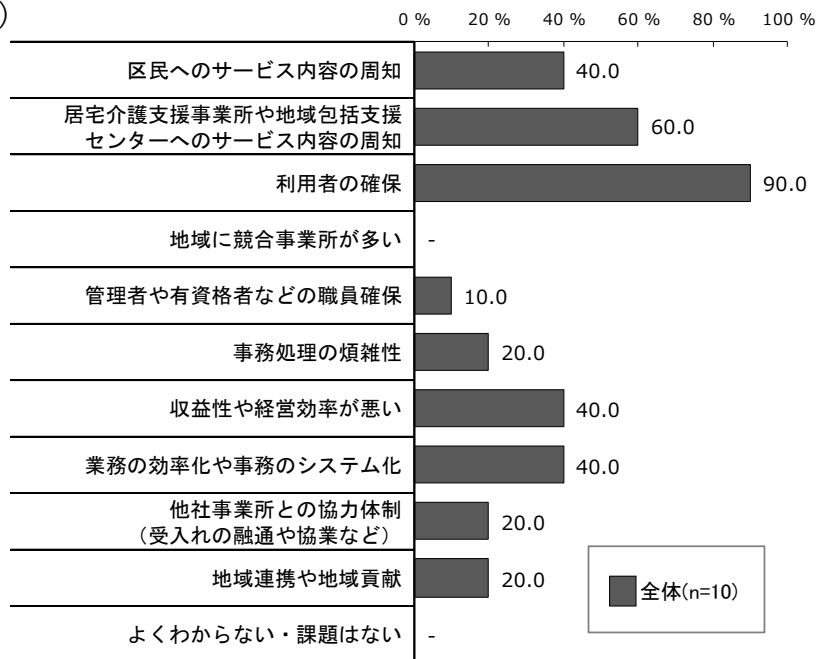
- 今後の事業拡大について、すべての事業所が「考えていない」と回答している。



## (5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「利用者の確保」(90.0%)が最も高く、次いで「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」(60.0%)の順となっている。

(複数回答)



## (6) 運営推進会議について

### ①開催状況(令和7年度)

○運営推進会議の開催数は、「2回」(70.0%)が最も高く、次いで「1回」(30.0%)の順となっている。

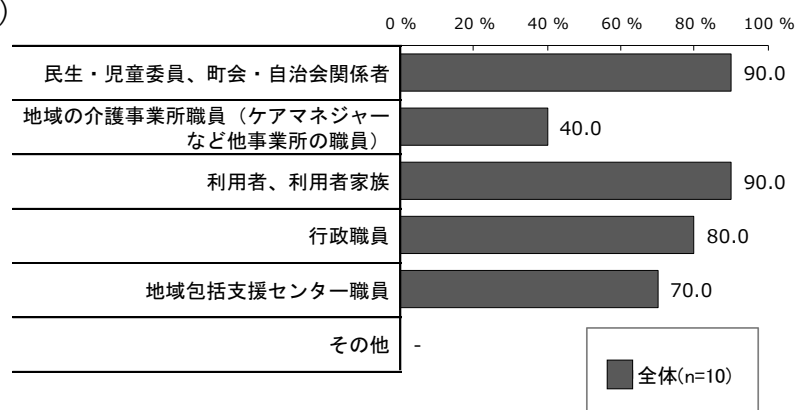
	n	0回	1回	2回	3~4回	5~6回
運営推進会議の開催数	10	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

### ②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「民生・児童委員、町会・自治会関係者」および「利用者、利用者家族」(ともに90.0%)が最も高く、次いで「行政職員」(80.0%)の順となっている。

(複数回答)



## (7) 地域交流の取組状況

### ①取組と今後の意向

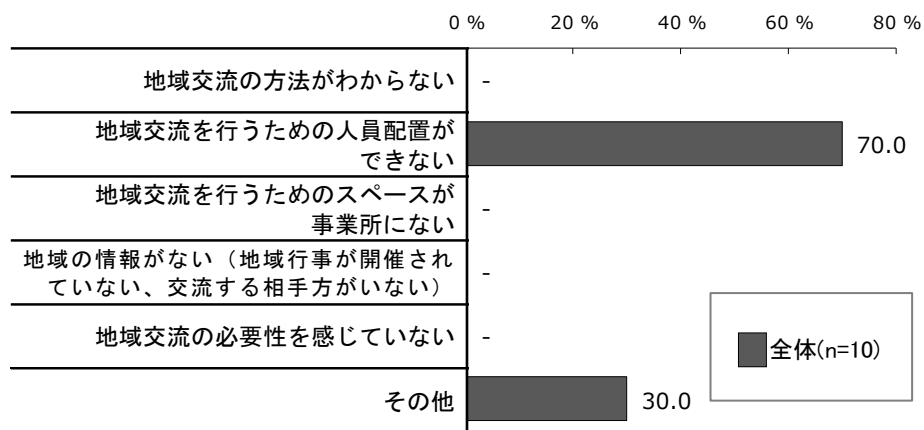
- 地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ある」と回答した事業所が80.0%となっている。
- 「ない」と回答したいずれの事業所も、今後の取組予定は「検討中」としている。

	（％）		⇒	（％）				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=10)	80.0	20.0		0.0	100.0	0.0	0.0	

### ②地域交流の課題

- 地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」（70.0%）が最も高く、次いで「その他」（30.0%）の順となっている。

（複数回答）



## 11. 小規模多機能型居宅介護

### (1) 契約者数等

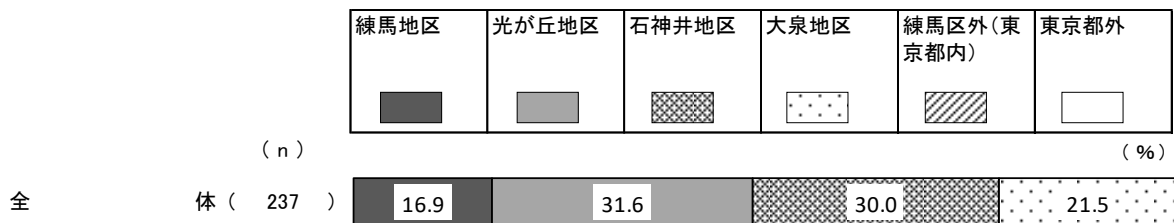
#### ①契約者数

○契約者数は「21人以上」(46.2%)が最も高く、次いで「16~20人」(38.5%)の順となっている。

	n	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21人以上
契約者数	13	7.7	0.0	7.7	38.5	46.2

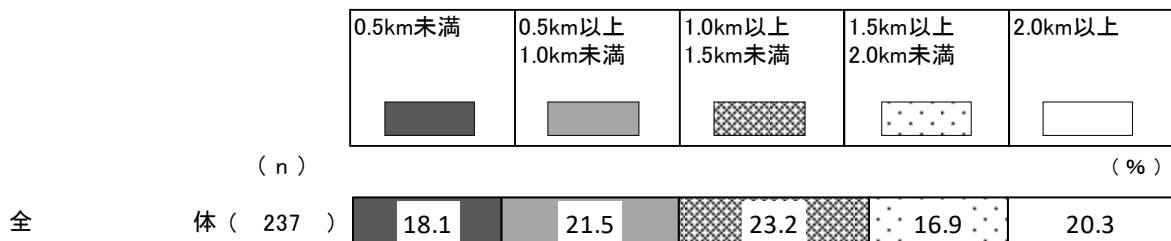
#### ②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(31.6%)が最も高く、次いで「石神井地区」(30.0%)の順となっている。



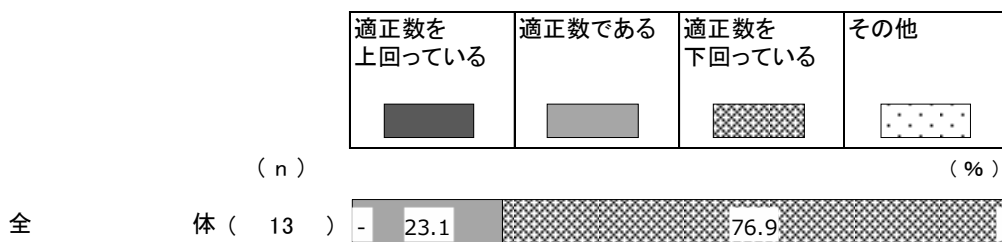
#### ③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「1.0km以上1.5km未満」(23.2%)が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」(21.5%)の順となっている。



### (2) 利用者数の妥当性

○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(76.9%)が最も高く、次いで「適正数である」(23.1%)の順となっている。

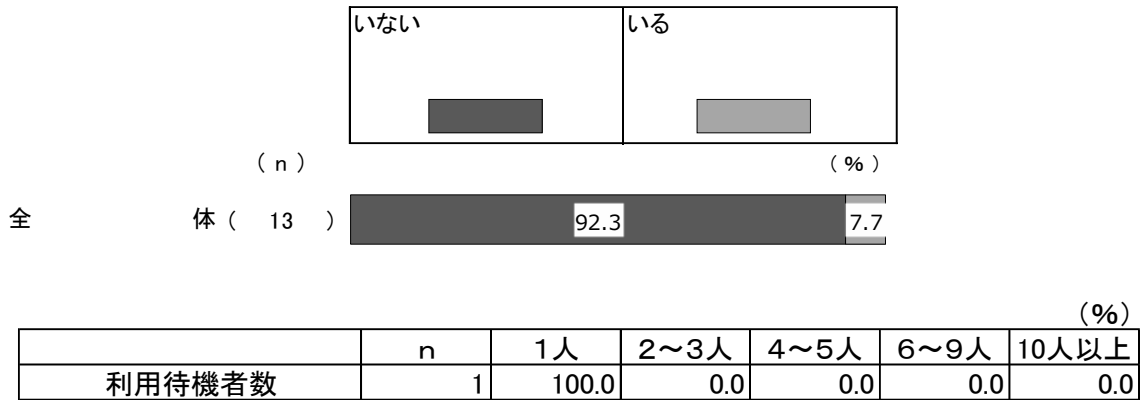


### (3) 利用待機者数

#### ①利用待機者数の有無

○利用待機者は、「いない」と回答した事業所が92.3%となっている。

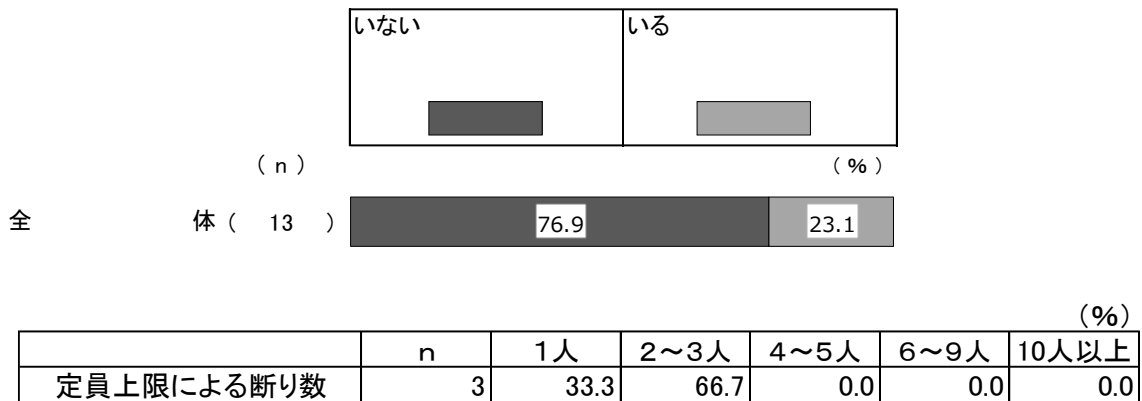
○「いる」と回答した事業所の待機者数は、「1人」となっている。



#### ②定員上限による断りの実態

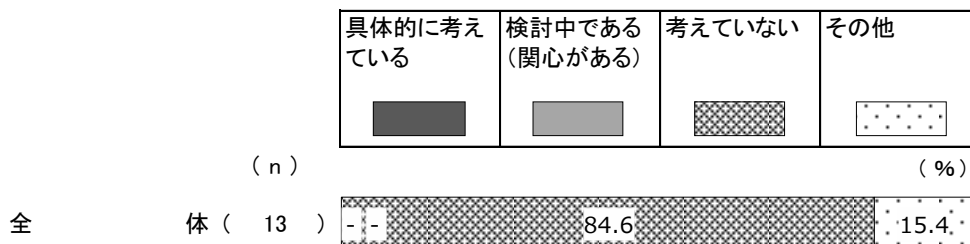
○定員上限により利用を断った方は、「いない」と回答した事業所が76.9%となっている。

○「いる」と回答した事業所で、定員上限により断った方は「2~3人」が66.7%となっている。



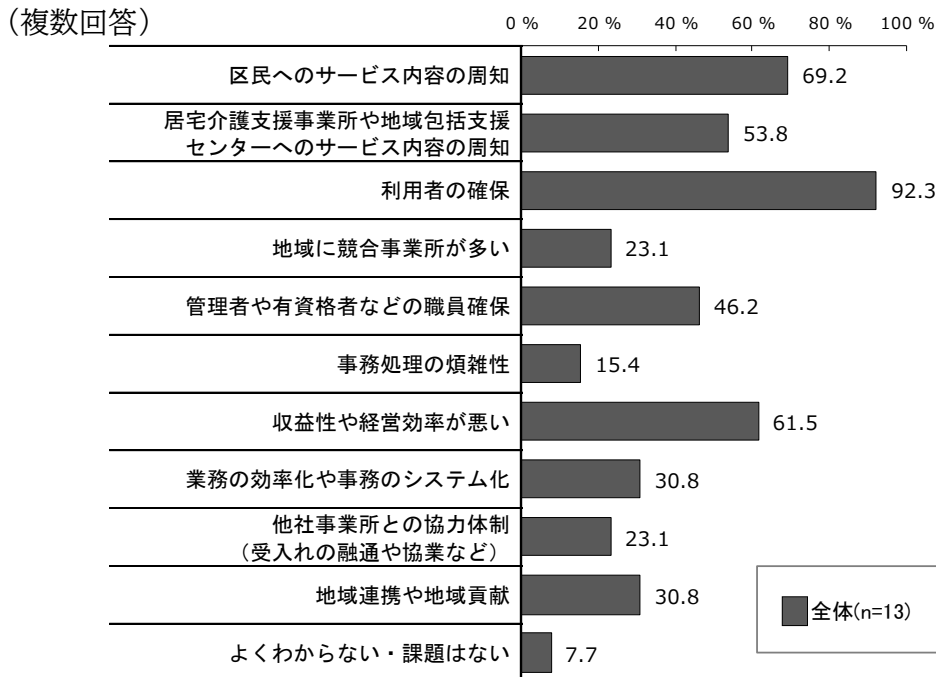
### (4) 今後の事業拡大の検討状況

○今後の事業拡大について、「考えていない」(84.6%)が最も高く、次いで「その他」(15.4%)の順となっている。



## (5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「利用者の確保」(92.3%)が最も高く、次いで「区民へのサービス内容の周知」(69.2%)の順となっている。



## (6) 運営推進会議について

### ①開催状況(令和7年度)

○運営推進会議の開催数は、「5～6回」(84.6%)が最も高く、次いで「3～4回」(15.4%)の順となっている。

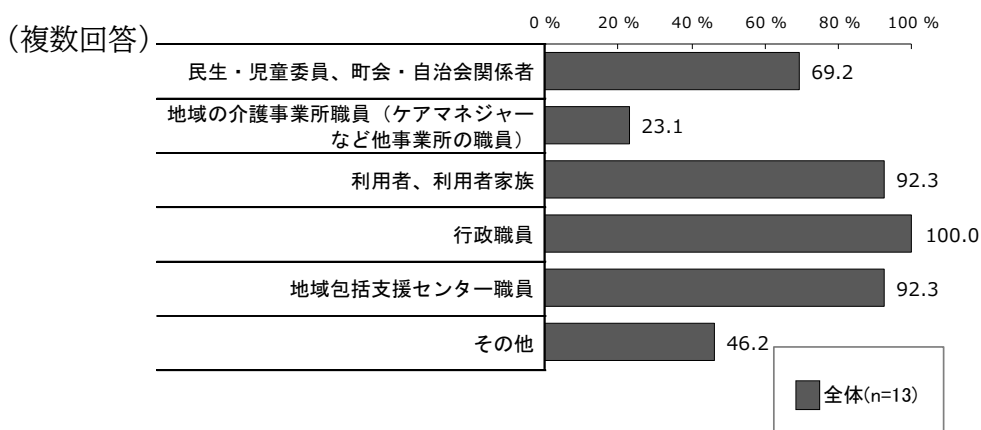
	n	0回	1回	2回	3～4回	5～6回
運営推進会議の開催数	13	0.0	0.0	0.0	15.4	84.6

(%)

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

### ②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「行政職員」(100.0%)が最も高く、次いで「利用者、利用者家族」および「地域包括支援センター職員」(ともに92.3%)の順となっている。



## (7) 地域交流の取組状況

### ①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ある」と回答した事業所が92.3%となっている。

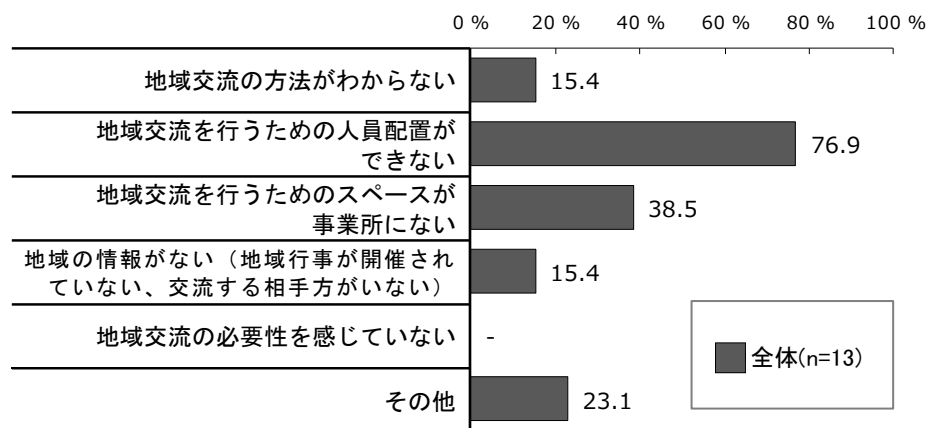
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」となっている。

(%)			(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他
全体(n=13)	92.3	7.7	⇒	0.0	100.0	0.0	0.0

### ②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(76.9%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事務所にない」(38.5%)の順となっている。

(複数回答)



## 12. 看護小規模多機能型居宅介護

### (1) 契約者数等

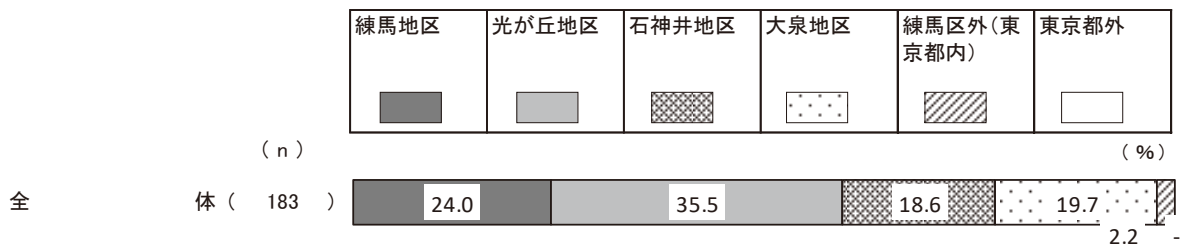
#### ①契約者数

○契約者数は「16～20人」(50.0%)が最も高く、次いで「21人以上」(30.0%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	10	0.0	10.0	10.0	50.0	30.0

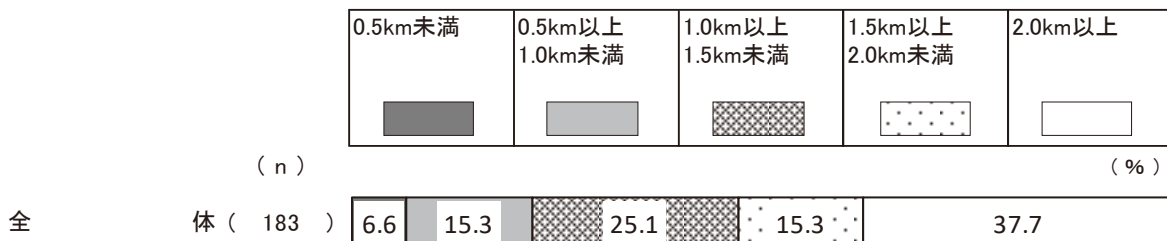
#### ②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(35.5%)が最も高く、次いで「練馬地区」(24.0%)の順となっている。



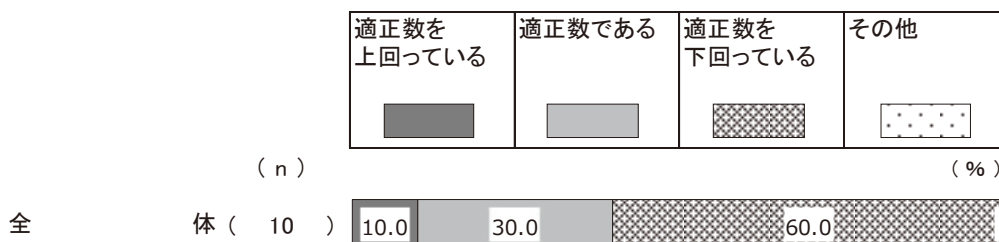
#### ③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(37.7%)が最も高く、次いで「1.0km以上1.5km未満」(25.1%)の順となっている。



### (2) 利用者数の妥当性

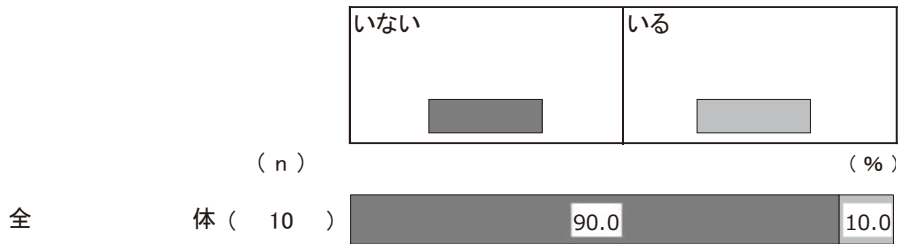
○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(60.0%)が最も高く、次いで「適正数である」(30.0%)の順となっている。



### (3) 利用待機者数

#### ①利用待機者数の有無

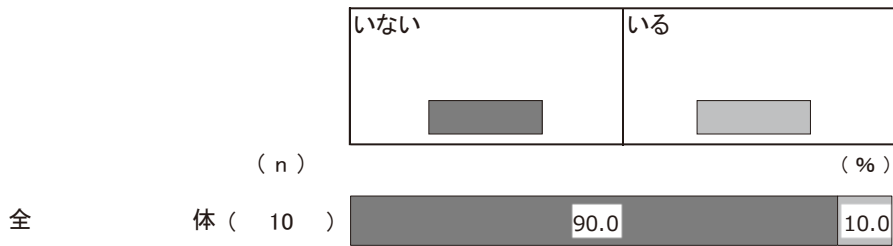
- 利用待機者は、「いない」と回答した事業所が90.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の待機人数は、「2～3人」が100.0%となっている。



	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
利用待機者数	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

#### ②定員上限による断りの実態

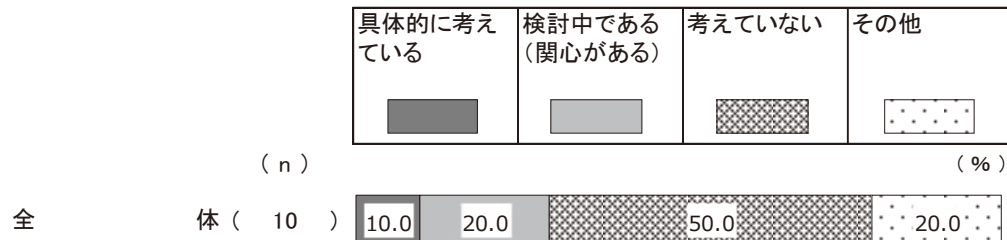
- 定員上限により利用を断った方は、「いない」と回答した事業所が90.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の定員上限により断った方は、「2～3人」となっている。



	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
定員上限による断り数	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

### (4) 今後の事業拡大の検討状況

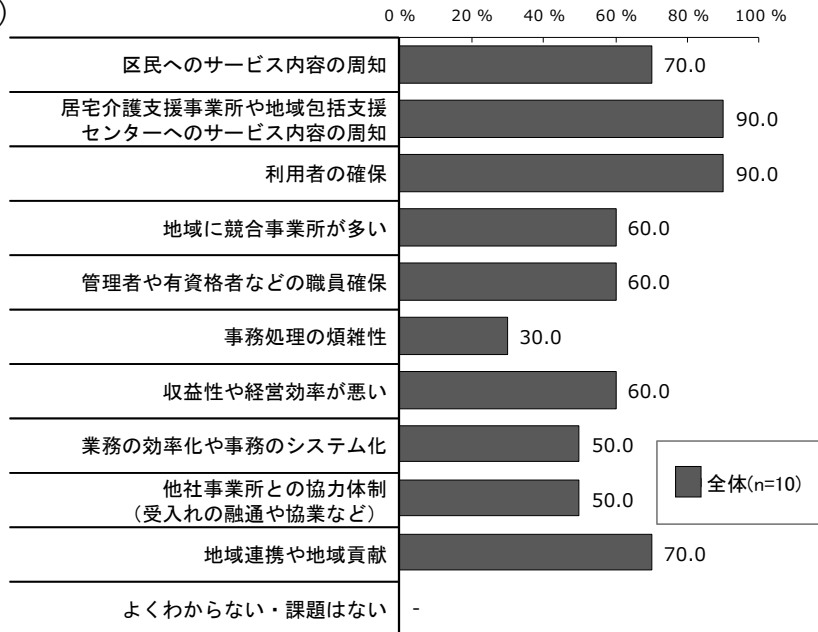
- 今後の事業拡大について、「考えていない」(50.0%)が最も高く、次いで「検討中である(関心がある)」および「その他」(ともに20.0%)の順となっている。



## (5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」および「利用者の確保」（ともに90.0%）が最も高く、次いで「区民へのサービス内容の周知」および「地域連携や地域貢献」（ともに70.0%）の順となっている。

(複数回答)



## (6) 運営推進会議について

### ①開催状況（令和7年度）

○運営推進会議の開催数は、「5～6回」（80.0%）が最も高く、次いで「3～4回」（20.0%）の順となっている。

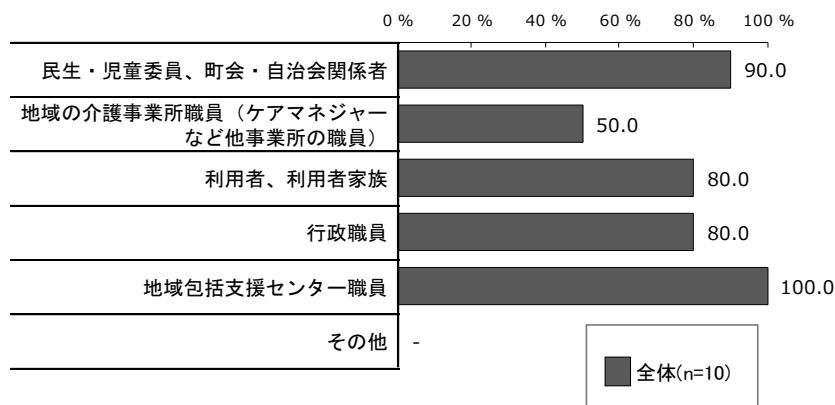
	n	0回	1回	2回	3～4回	5～6回
運営推進会議の開催数	10	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

### ②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「地域包括支援センター職員」（100.0%）が最も高く、次いで「民生・児童委員、町会・自治会関係者」（90.0%）の順となっている。

(複数回答)



## (7) 地域交流の取組状況

### ①取組と今後の意向

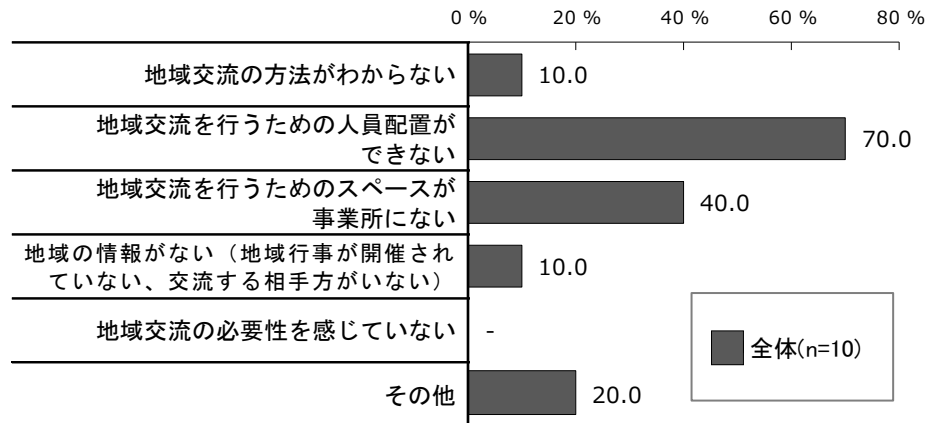
○地域との交流を図るために取り組んでいることは、すべての事業所が「ある」と回答している。

	(%)	
	ある	ない
全体(n=10)	100	0

### ②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(70.0%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事務所にない」(40.0%)の順となっている。

(複数回答)



### 13. 認知症対応型共同生活介護

#### (1) 契約者数等

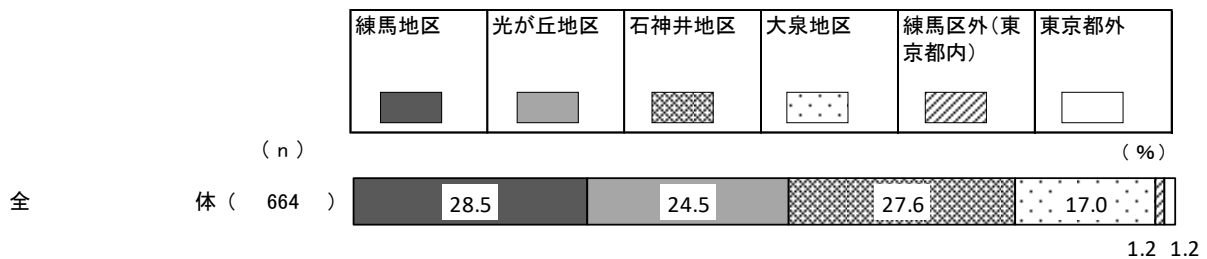
##### ①契約者数

○契約者数は「16～20人」(76.9%)が最も高く、次いで「6～10人」(15.4%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	39	0.0	15.4	0.0	76.9	7.7

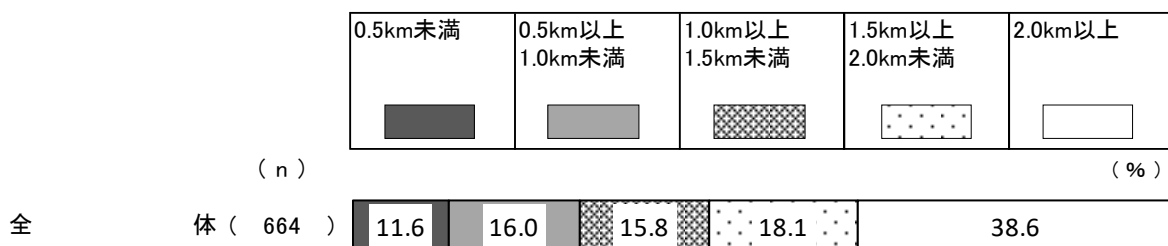
##### ②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「練馬地区」(28.5%)が最も高く、次いで「石神井地区」(27.6%)の順となっている。



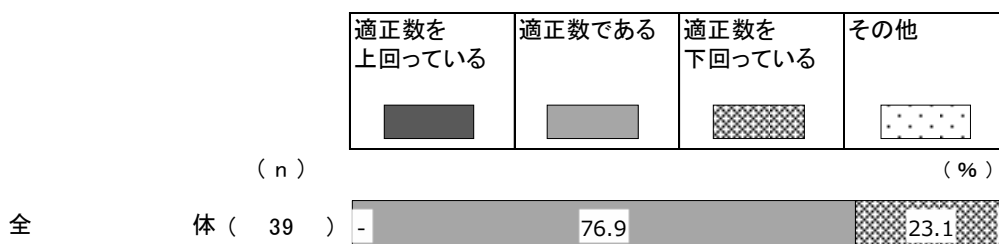
##### ③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(38.6%)が最も高く、次いで「1.5km以上2.0km未満」(18.1%)の順となっている。



#### (2) 利用者数の妥当性

○利用者数の妥当性について、「適正数である」(76.9%)が最も高く、次いで「適正数を下回っている」(23.1%)の順となっている。

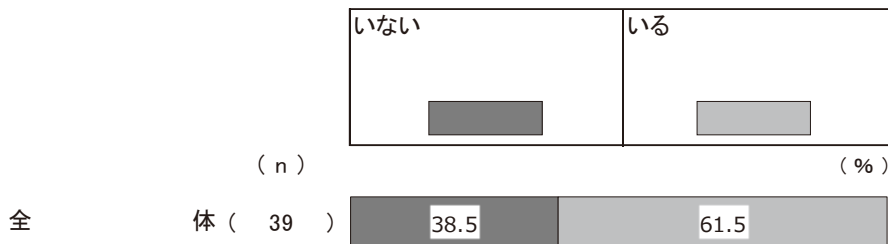


### (3) 利用待機者数

#### ①利用待機者数の有無

○利用待機者は、「いる」と回答した事業所が61.5%となっている。

○「いる」と回答した事業所の待機者数は、「2～3人」が37.5%となっている。

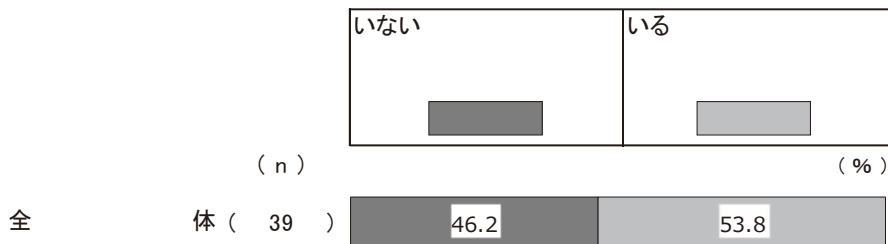


	(%)					
	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
利用待機者数	24	20.8	37.5	20.8	16.7	4.2

#### ②定員上限による断りの実態

○定員上限により利用を断った方は、「いる」と回答した事業所が53.8%となっている。

○「いる」と回答した事業所で、定員上限により断った方は「2～3人」が最も高く42.9%となっている。



	(%)					
	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
定員上限による断り数	21	19.0	42.9	19.0	14.3	4.8

#### (4) 退所状況（令和7年実績）

##### ①令和7年中の退所者数

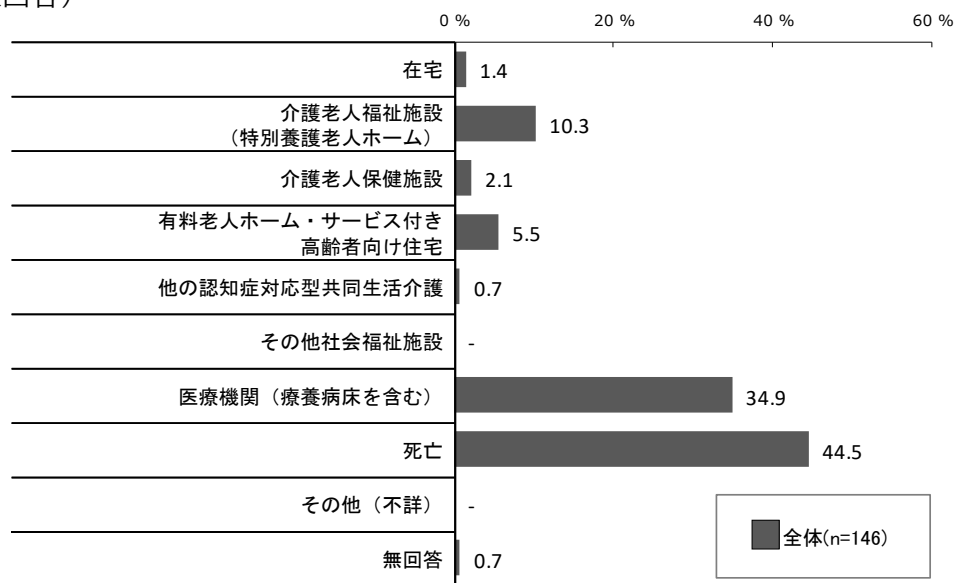
○退所者数は、「2～3人」（33.3%）が最も高く、次いで「4～5人」（25.6%）の順となっている。

(%)							
	n	0人	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
令和7年中の退所者数	39	5.1	15.4	33.3	25.6	17.9	2.6

##### ②退所後の行き先

○退所後の行先について、「死亡」（44.5%）が最も高く、次いで「医療機関（療養病床を含む）」（34.9%）の順となっている。

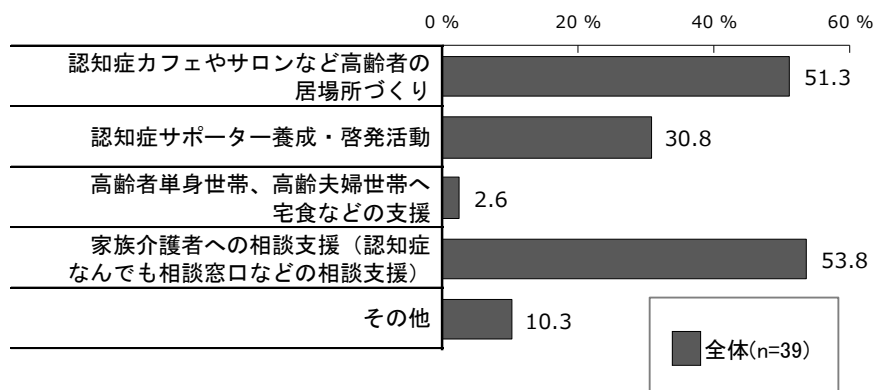
（複数回答）



#### (5) 多機能化に向けて取り組みたい事業

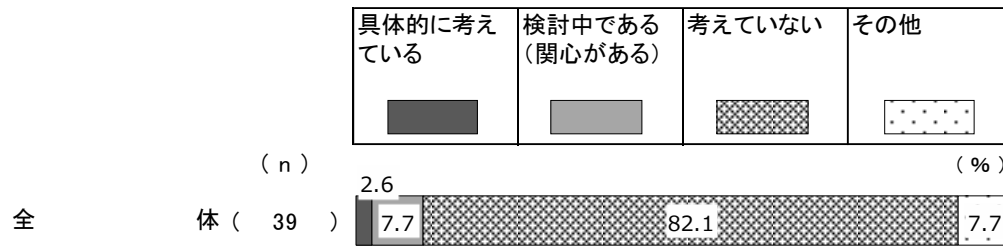
○多機能化に向けて取り組みたい事業について、「家族介護者への相談支援（認知症なんでも相談窓口などの相談支援）」（53.8%）が最も高く、次いで「認知症カフェやサロンなど高齢者の居場所づくり」（51.3%）の順となっている。

（複数回答）



## (6) 今後の事業拡大の検討状況

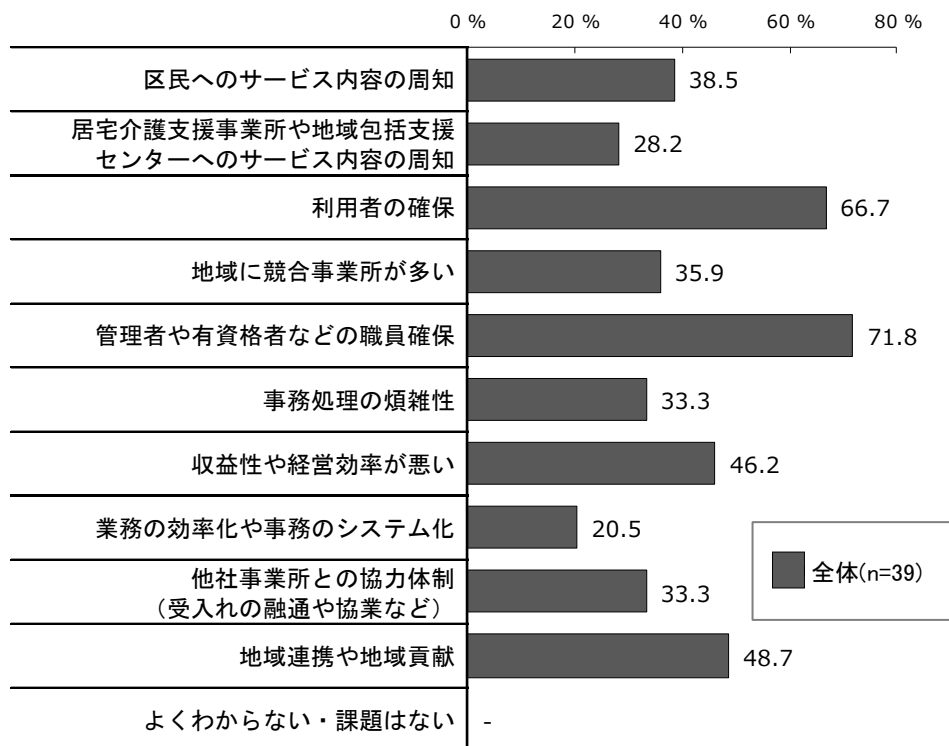
○今後の事業拡大について、「考えていない」(82.1%)が最も高く、次いで「検討中である(関心がある)」および「その他」(ともに7.7%)の順となっている。



## (7) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「管理者や有資格者などの職員確保」(71.8%)が最も高く、次いで「利用者の確保」(66.7%)の順となっている。

(複数回答)



## (8) 運営推進会議について

### ①開催状況（令和7年度）

○運営推進会議の開催数は、「5～6回」（94.9%）が最も高く、次いで「3～4回」（5.1%）の順となっている。

	n	0回	1回	2回	3～4回	5～6回
運営推進会議の開催数	39	0.0	0.0	0.0	5.1	94.9

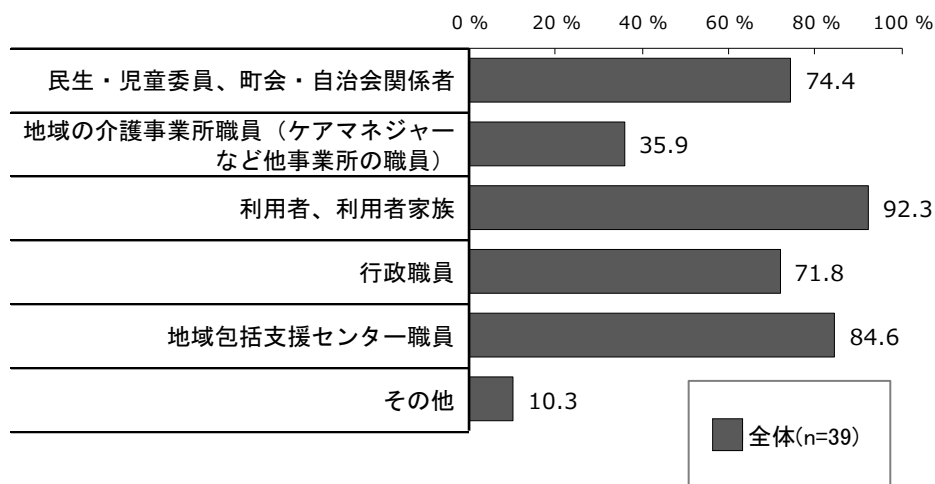
(%)

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

### ②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「利用者、利用者家族」（92.3%）が最も高く、次いで「包括支援センター職員」（84.6%）の順となっている。

（複数回答）



## (9) 地域交流の取組状況

### ①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ある」と回答した事業所が79.5%となっている。

○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」が75.0%となっている。

	(%)		⇒	(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=39)	79.5	20.5		25.0	75.0	0.0	0.0	

### ②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(76.9%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事務所にない」(41.0%)の順となっている。

(複数回答)

